

菊川市こども若者意識調査  
結果報告書

令和5年8月 菊川市市民協働センター

## 目次

1.	調査概要	2
2.	回答者情報	3
3.	人生観・充実度	4
4.	生活について	7
5.	他者との関わり	11
6.	学校や職場以外で他者で行う活動	12
7.	社会参加	17
8.	将来像	24
9.	居場所との相関	25
10.	自由記述	26
11.	考察	28
12.	出典	28

# 1. 調査概要

## ○目的・背景：

2023年4月に設立されたこども家庭庁が、こどもや若者を社会を形成する主体と位置付け、こども基本法第11条により、国や地方自治体がこども施策の策定に当たって、当事者であるこどもの意見の反映に係る措置を講ずることを義務付けている。

菊川市では、高校生のまちづくり活動が盛んに行われているが、まちに対して意見を伝えるなど社会形成の主体とは言い難い現状もある。菊川市は外国人住民の割合が県内で最も高く、外国にルーツを持つこども・若者の数も多い。また、虐待、いじめ、不登校、ヤングケアラー、社会的養護、障害、非行、経済的困窮などのこどもや若者の声も社会に反映させていく体制の構築が課題となっている。

本意識調査は、2023年6月に発足した「菊川市こども・わかもの参画協議会」で検討を行っている「こども・わかもの参画宣言」に反映させるため、こども・若者の現状を把握することを目的としたアンケートである。

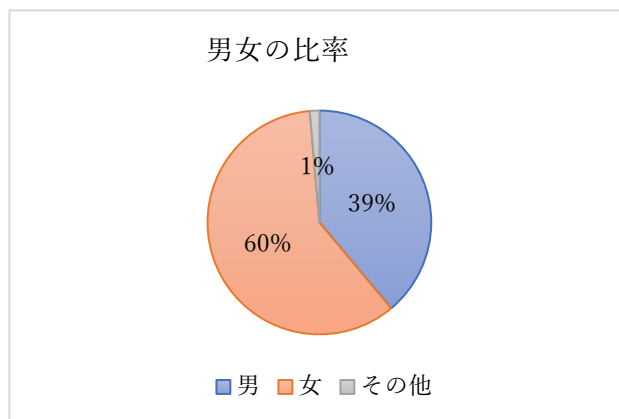
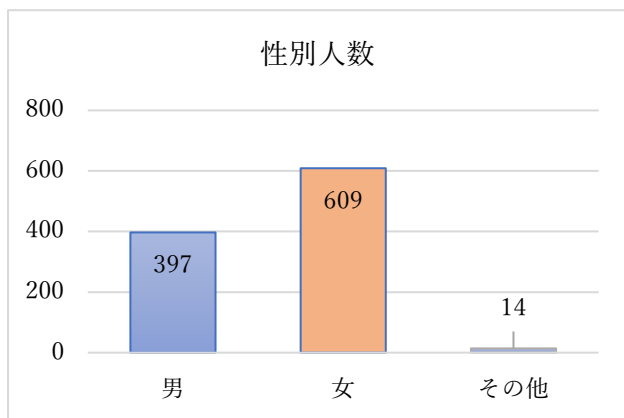
- ・調査項目：内閣府の子ども若者白書等の全国調査に沿った内容で調査することで全国との比較を行う
- ・調査対象：13歳～18歳までの男女（N=1020人）
- ・調査範囲：菊川市内の中学校・高校
- ・実施期間：令和5年6月15日～7月15日
- ・調査方法：Google フォームによるオンラインでのアンケート実施
- 参考：子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）

## 2. 菊川市子ども・若者意識調査結果・回答者情報

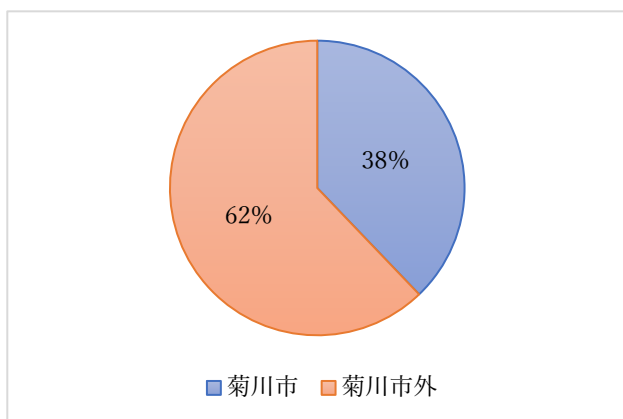
### 1) 学校名

菊川市立菊川東中学校、菊川市立菊川西中学校、菊川市立岳洋中学校、静岡県立小笠高等学校、常葉大学付属菊川中高等学校、ブラジル人学校 (Centro de Ensino Nippo-Brasileiro, Centro Educacional Sorriso de Criança), その他

### 2) 性別



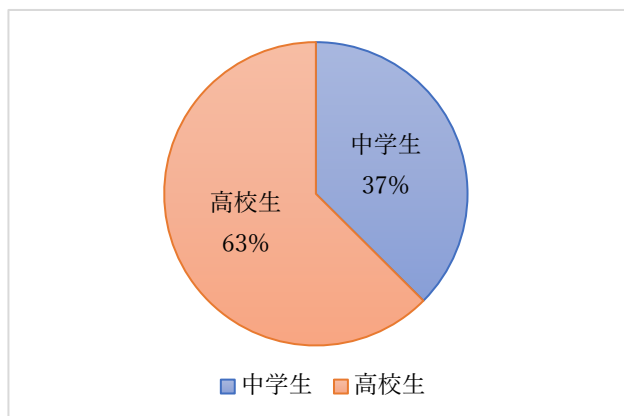
### 3) 住んでいる地域



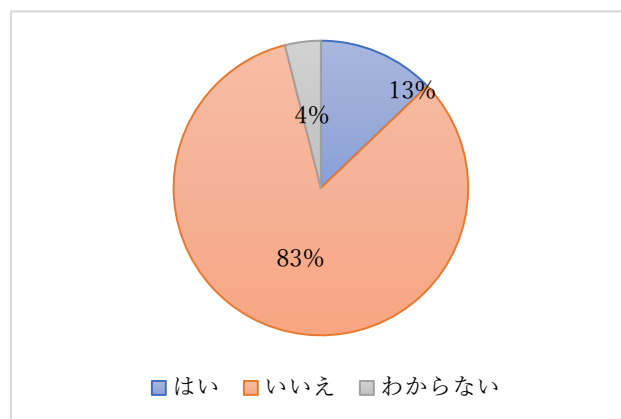
### 4) 年齢

中学生 12歳～15歳(382人)

高校生 16歳～18歳(638人)



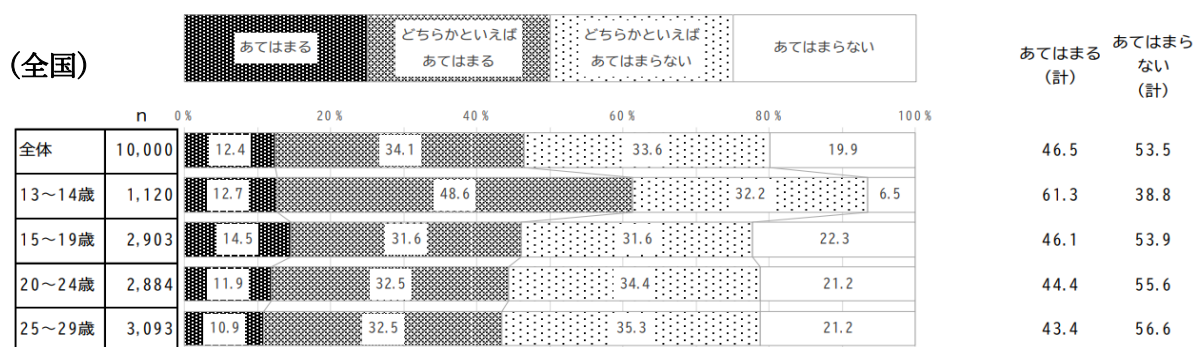
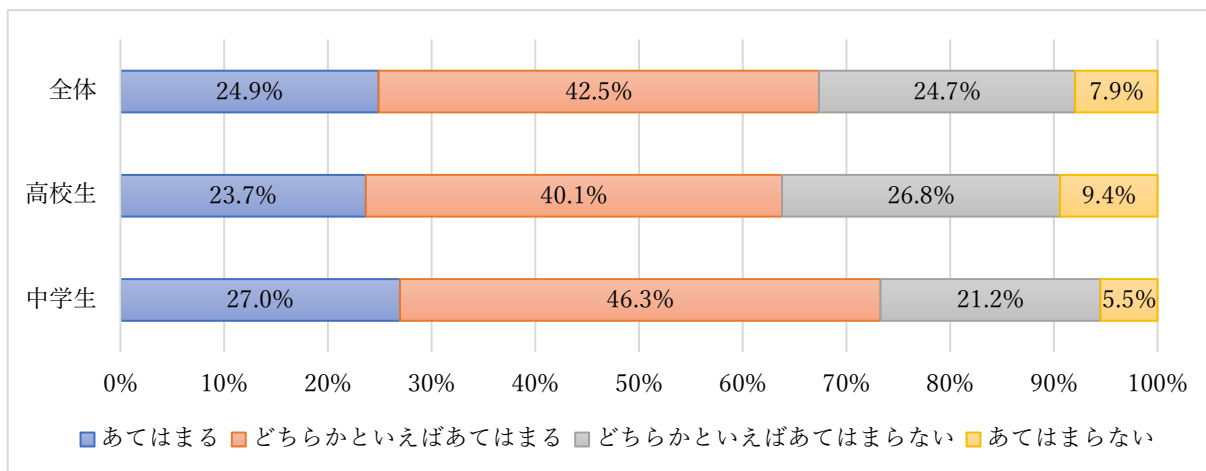
### 5) あなたは外国にルーツを持っていますか？



### 3. 人生観・充実度

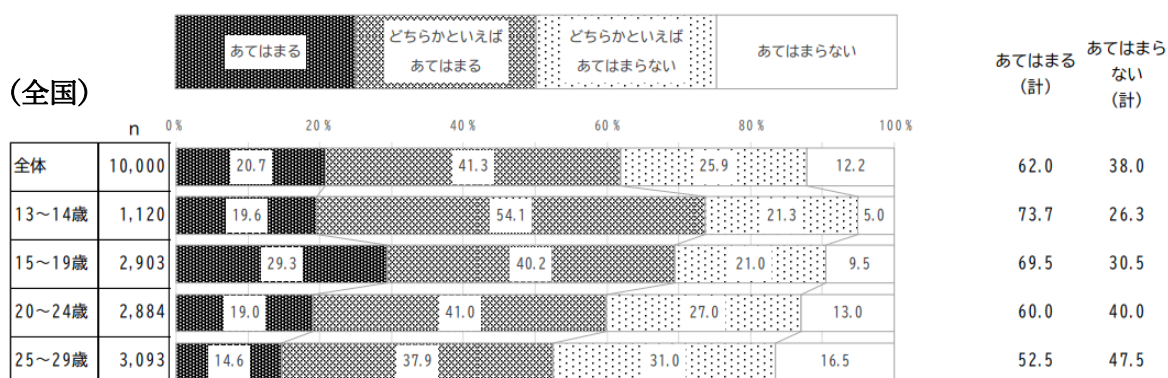
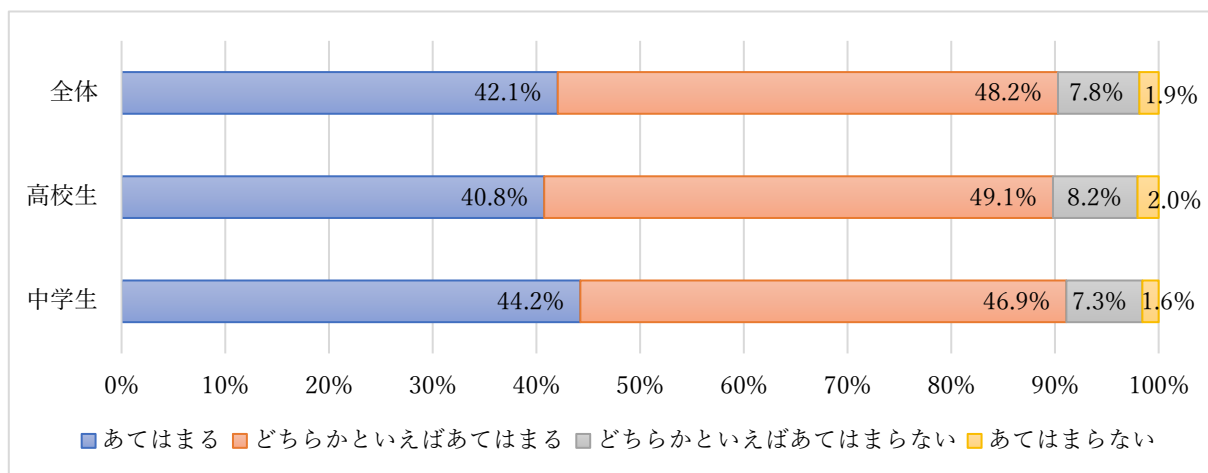
#### 1) あなた自身について

##### ① 今の自分が好きだ



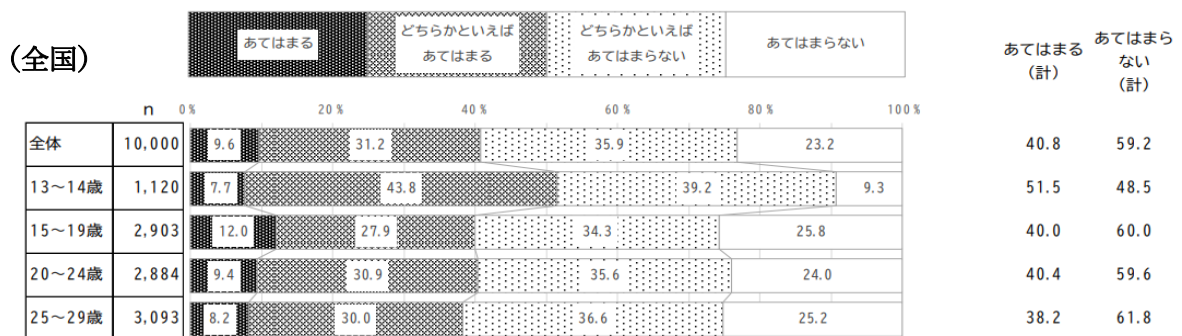
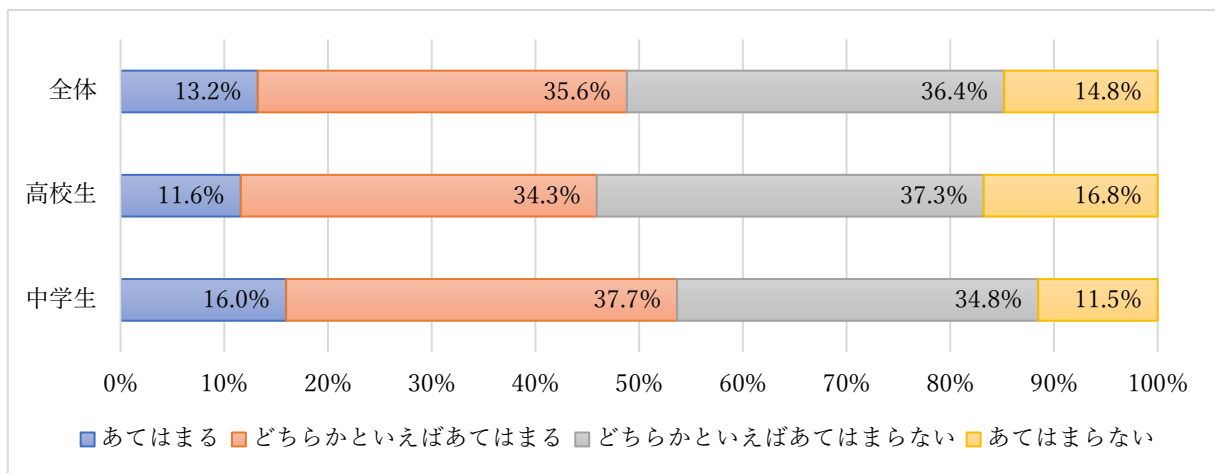
参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）』

##### ② 努力すれば希望する職業につくことができる



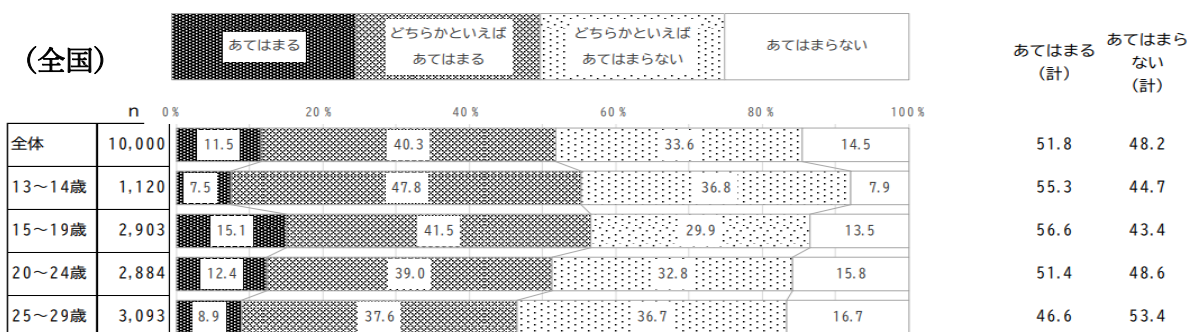
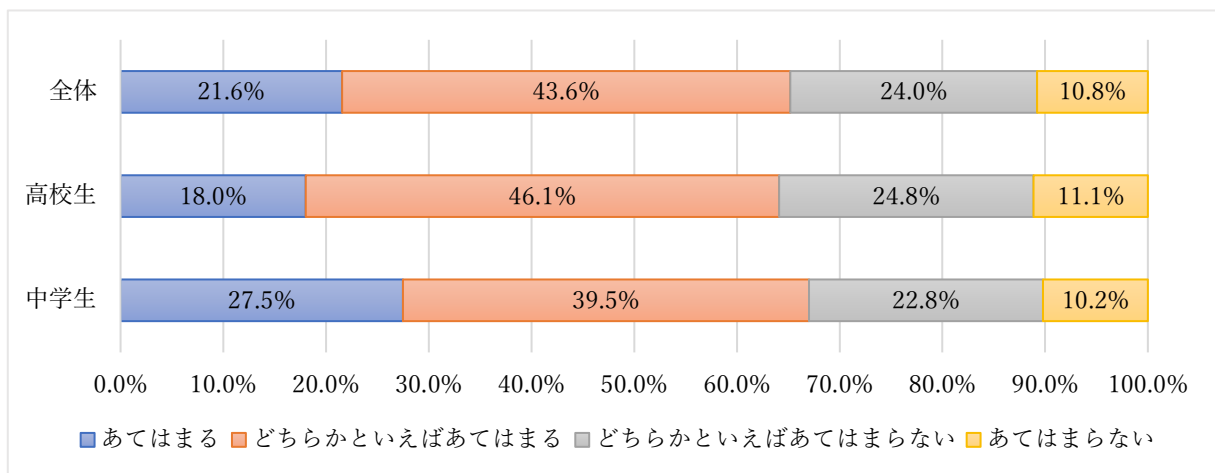
参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）』

### ③ 今の自分自身に満足している



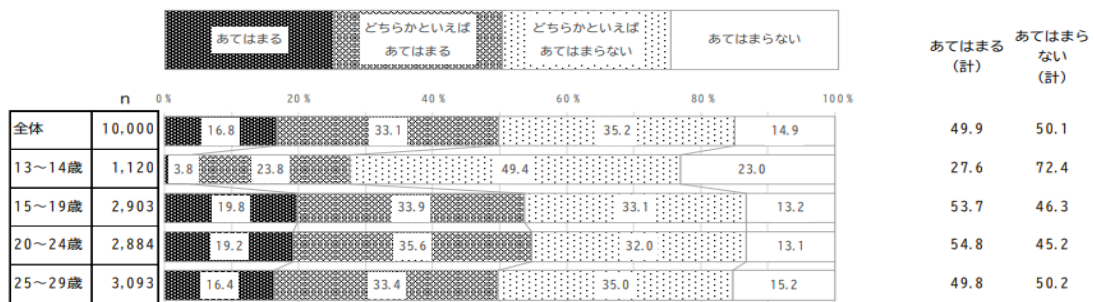
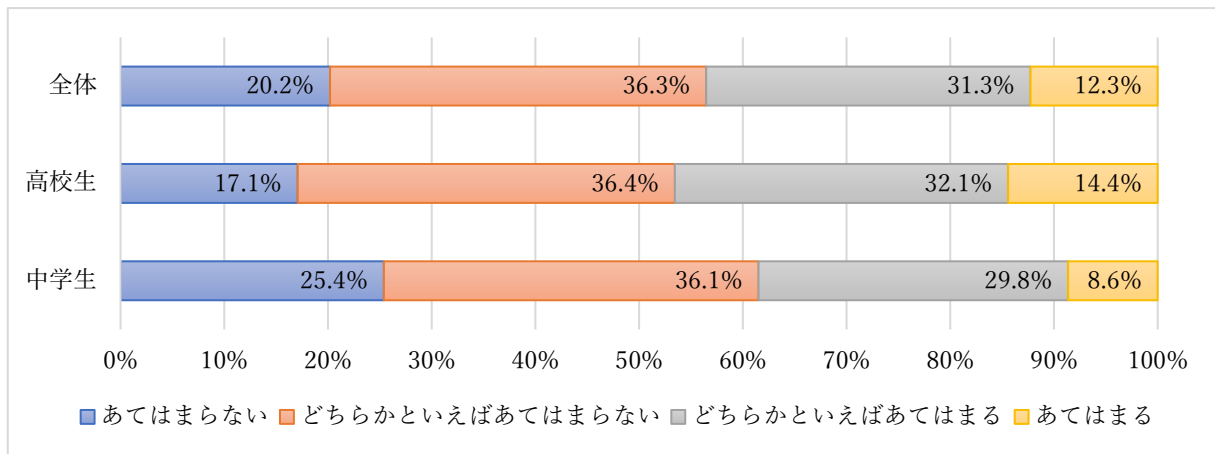
参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）』

### ④ 自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ



参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）』

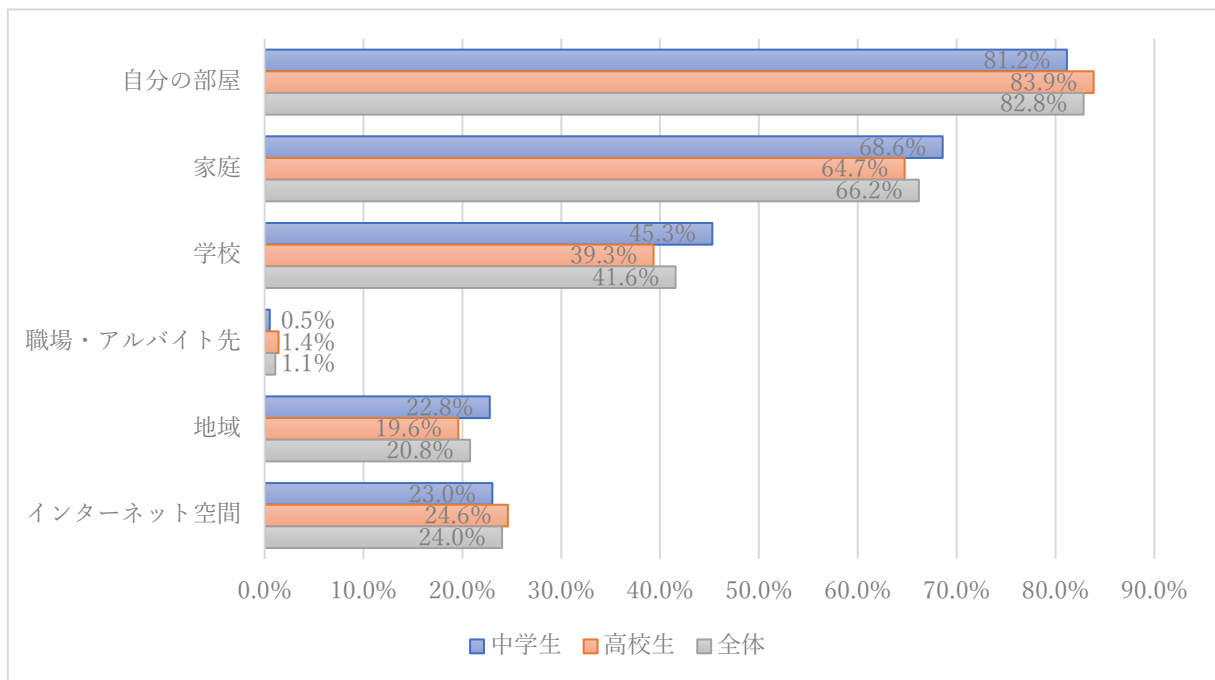
⑤ 自分は役に立たないと強く感じる



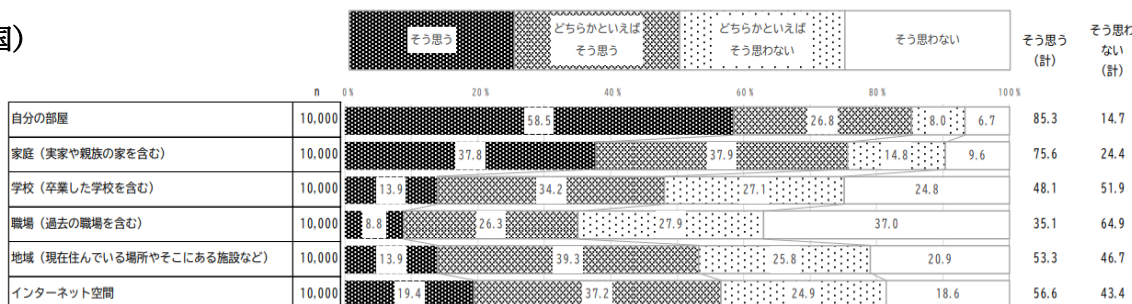
参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）』

2) 今のあなたにとって居場所になっていますか。

\*自分の居場所だと思う割合

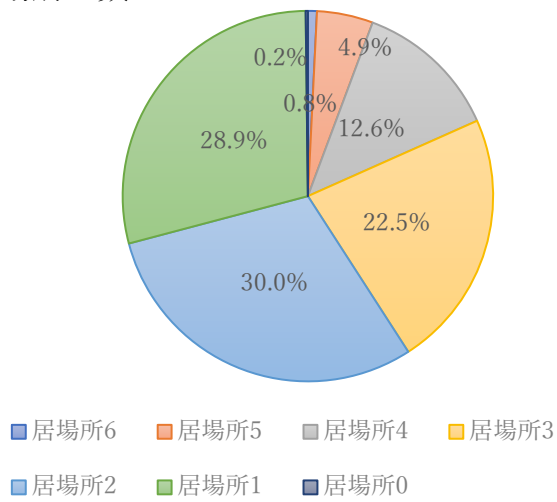


(全国)

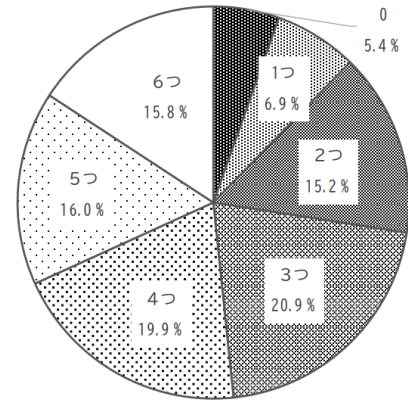


参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）』

居場所の数



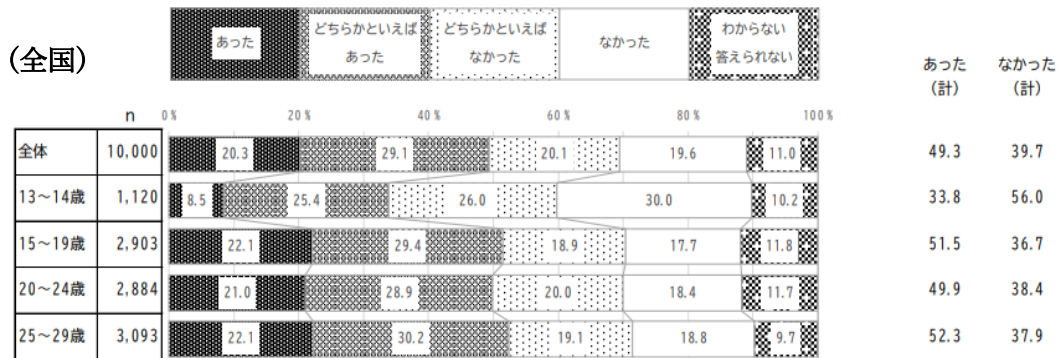
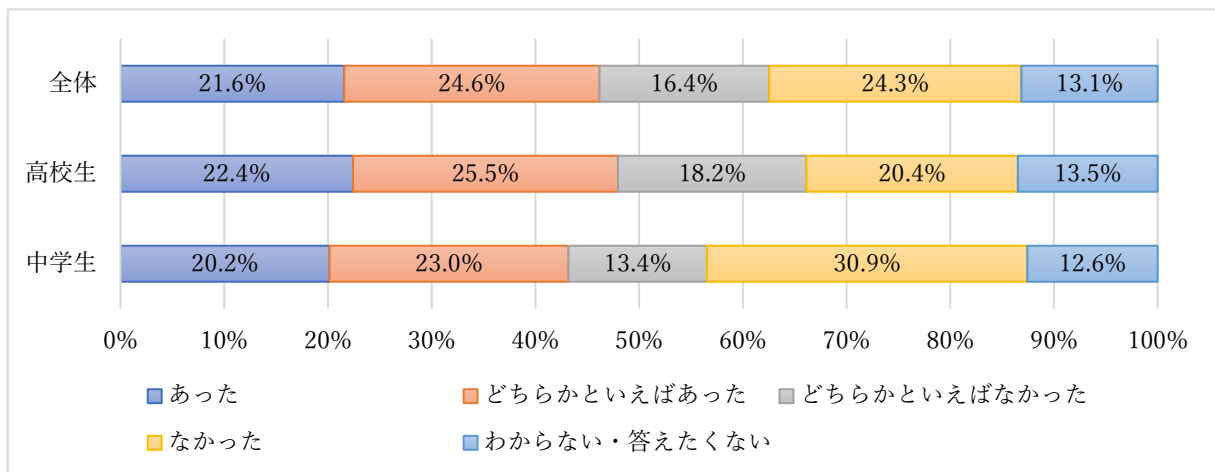
(全国)



参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査 (令和元年度)』

## 4. 生活について

### 1) 今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった経験がありますか。

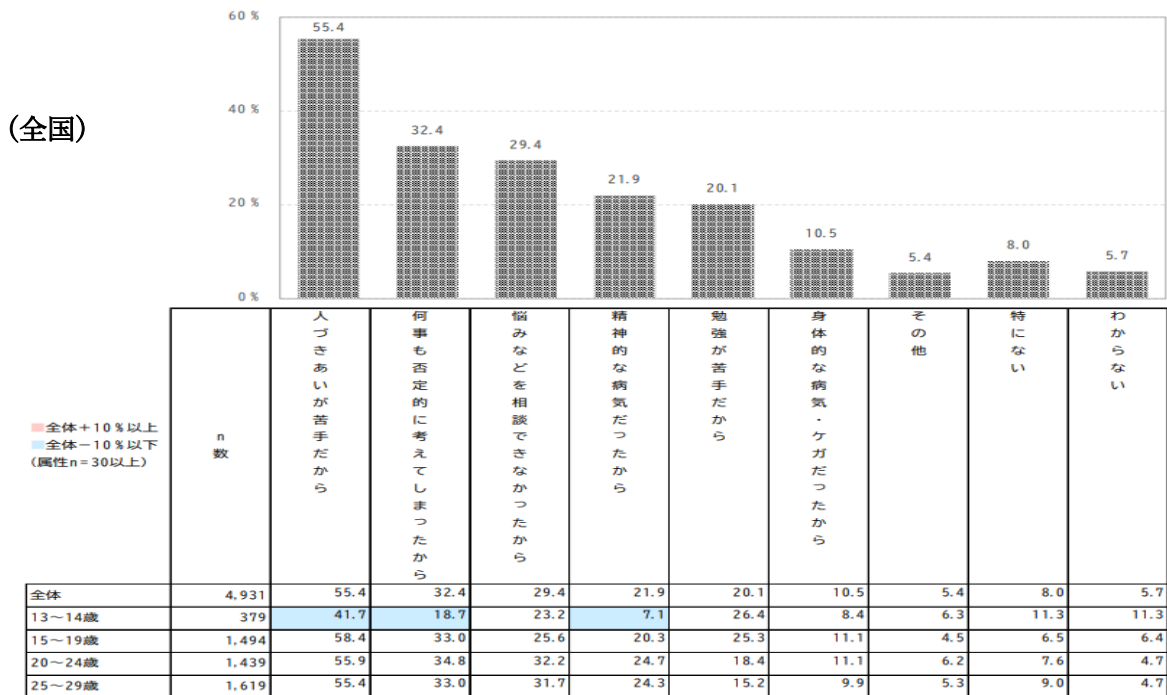
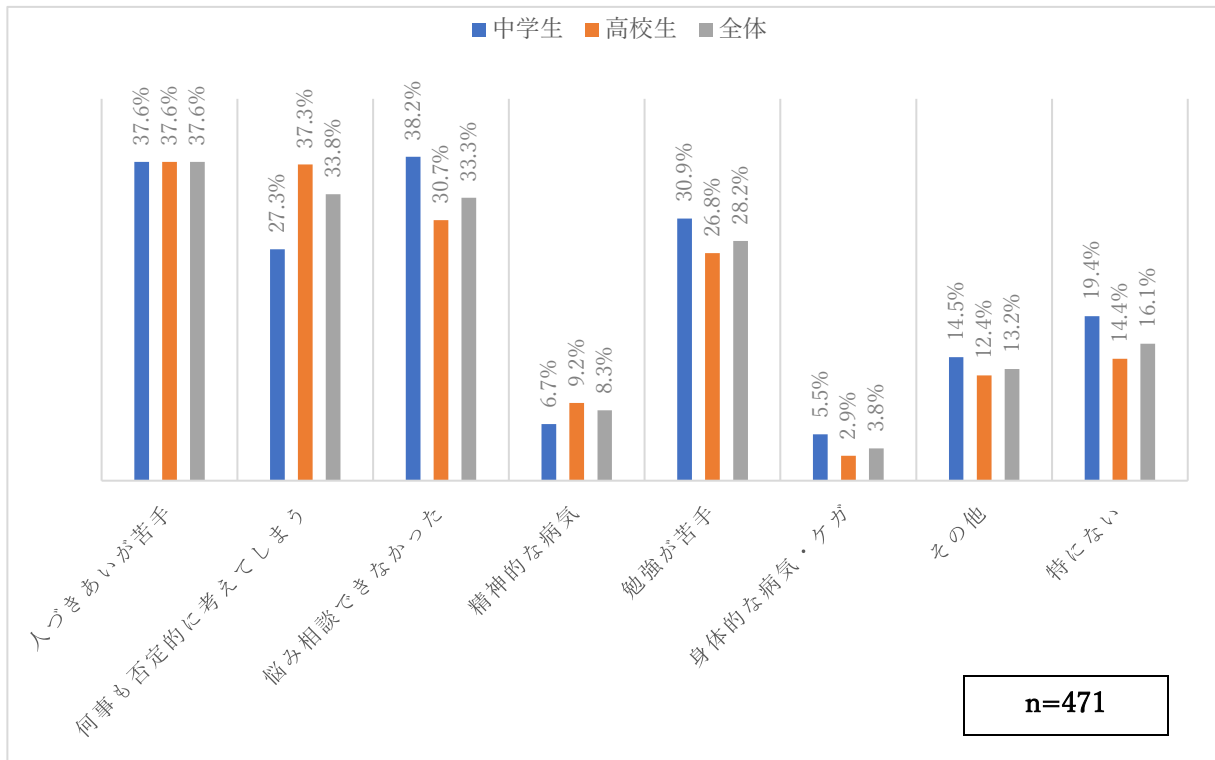


参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査 (令和元年度)』



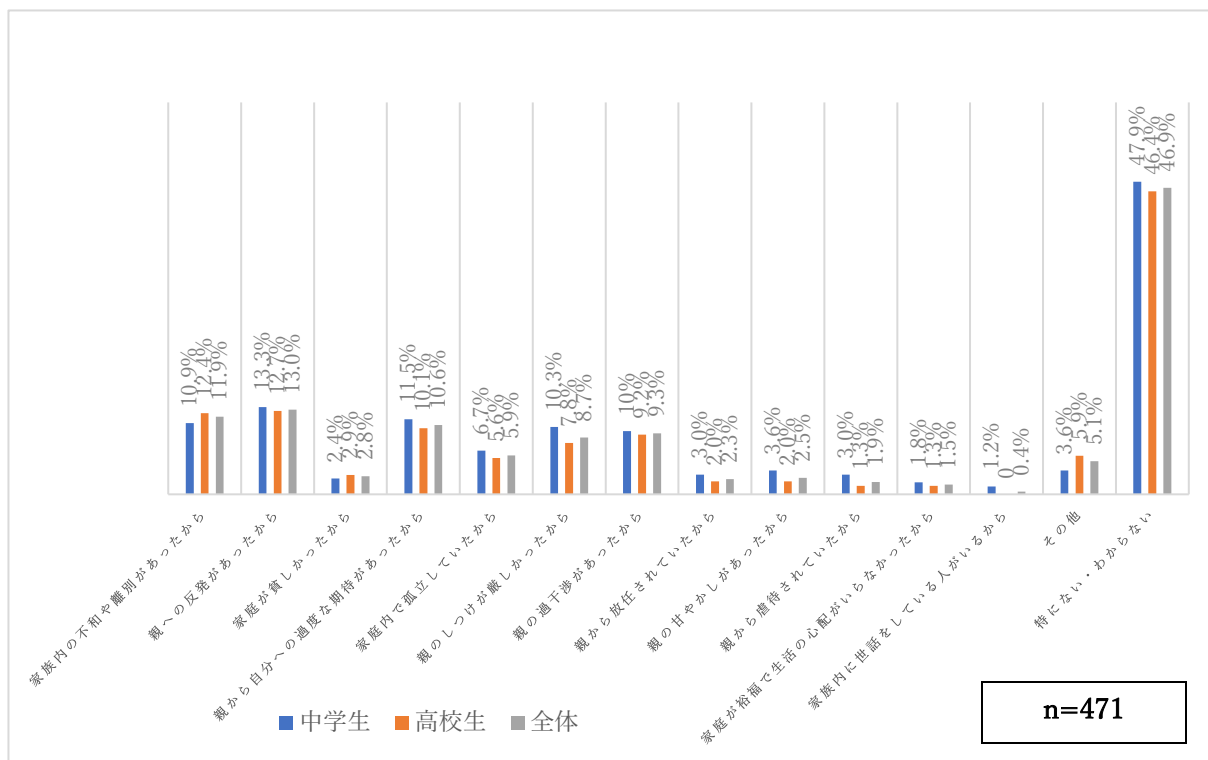
## 2) 経験した主な理由

### ①自分自身

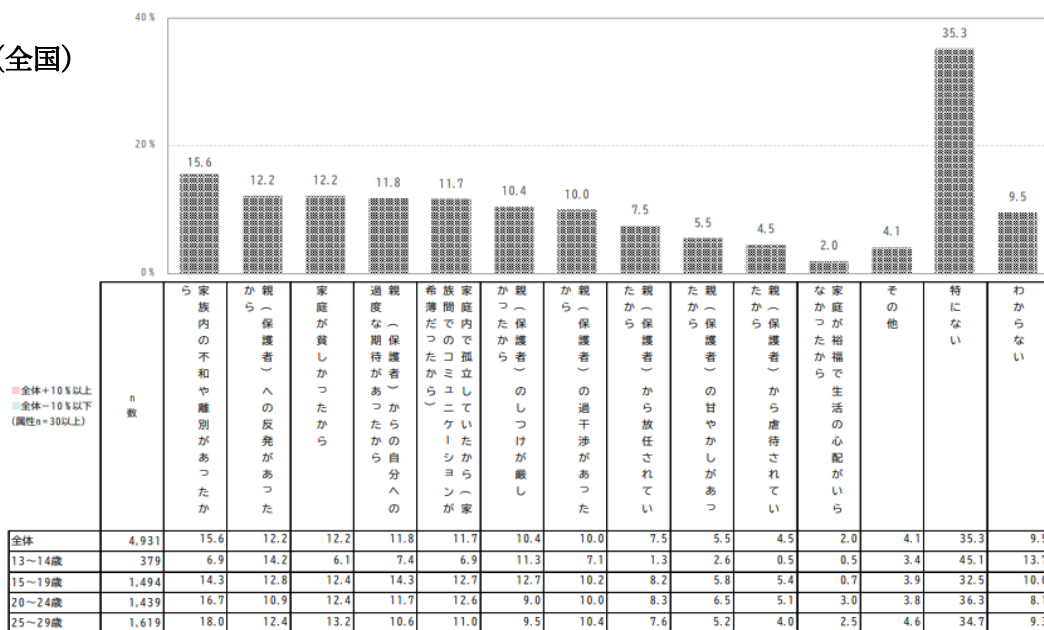


参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）』

②家庭・家族



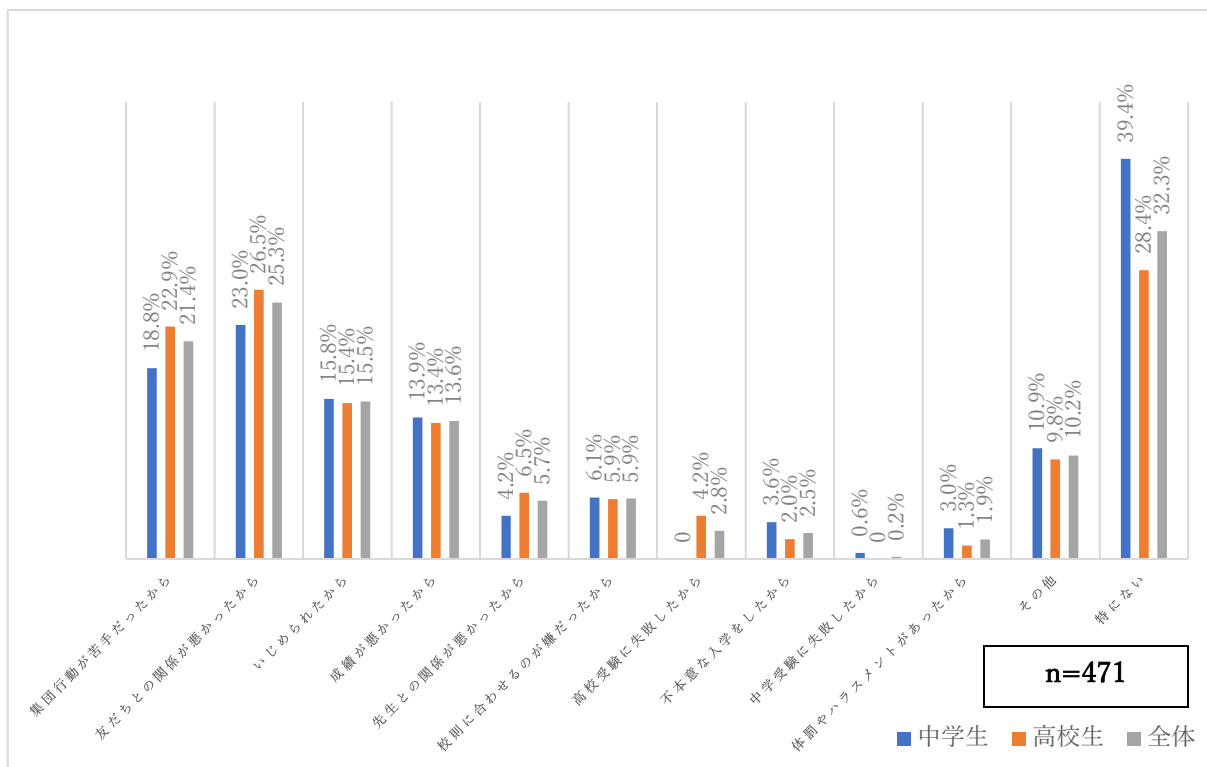
(全国)



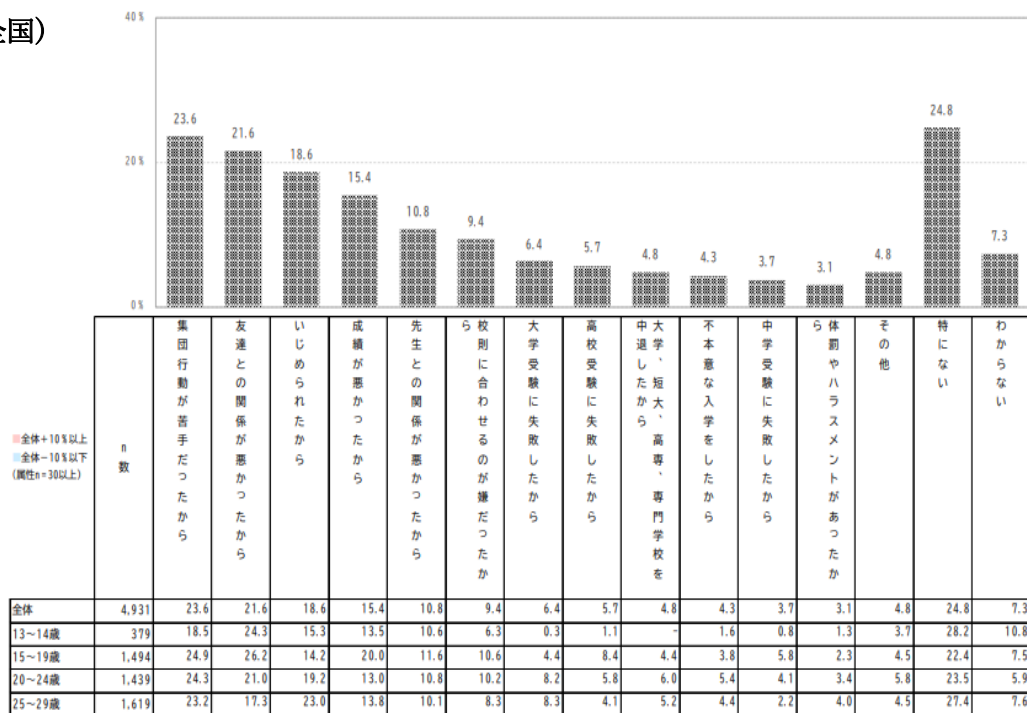
※Q5で「あった」「どちらかといえばあった」との回答者のみ回答

参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査 (令和元年度)』

### ③ 学 校



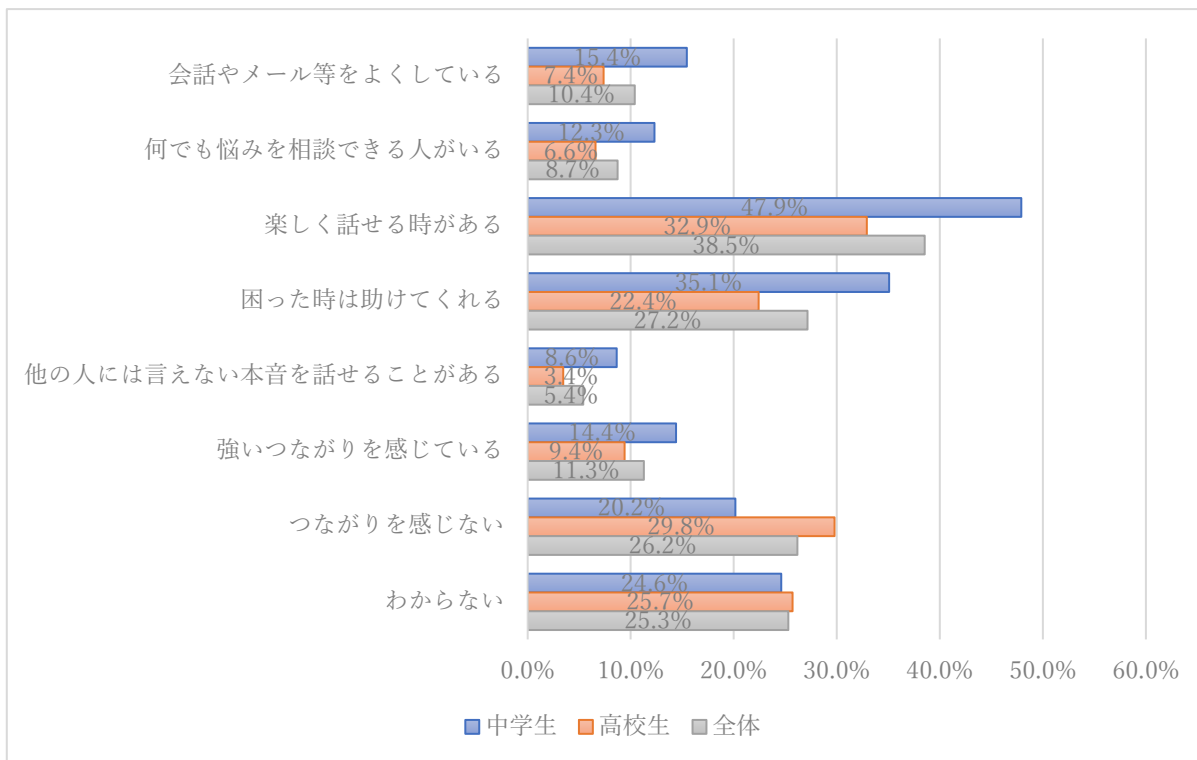
### (全国)



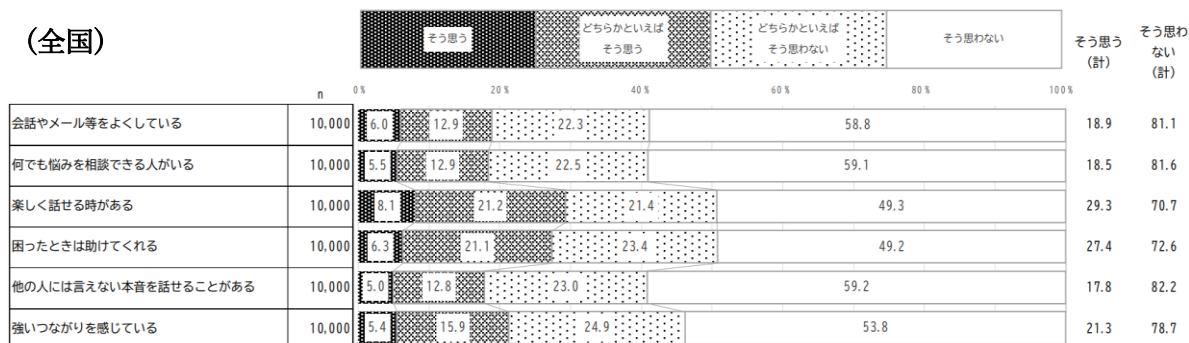
参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査 (令和元年度)』

## 5. 他者との関わり

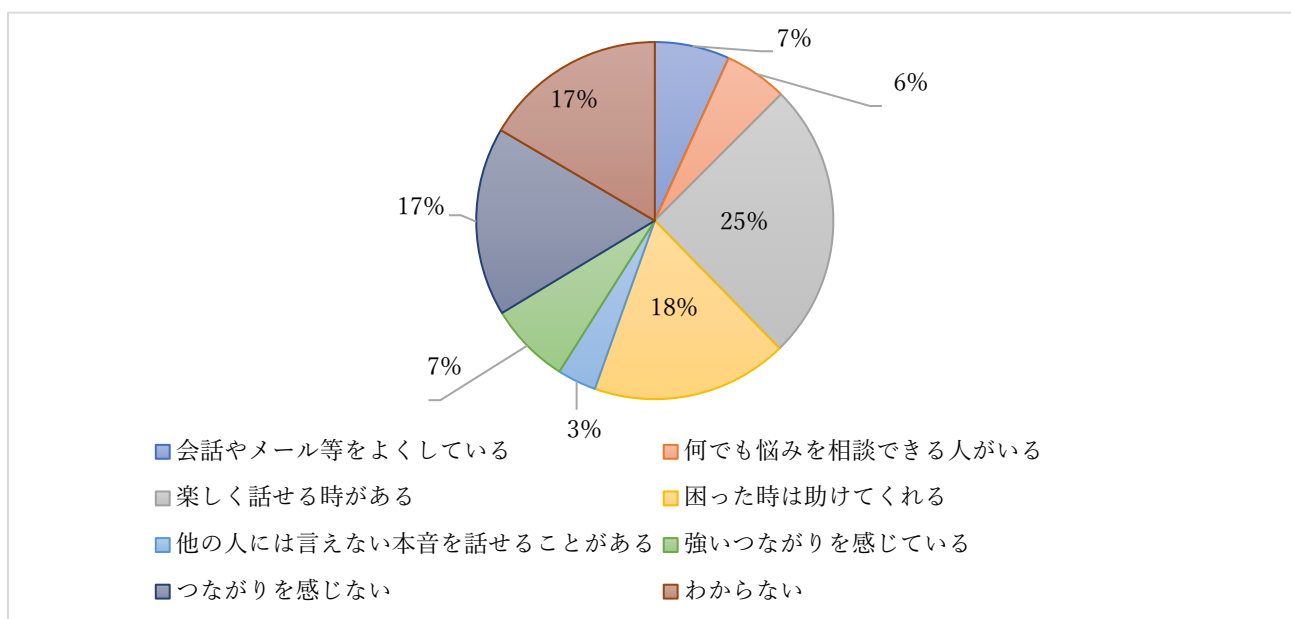
### 1) 地域の人とあなたのかかわりはどのようなものですか



(全国)

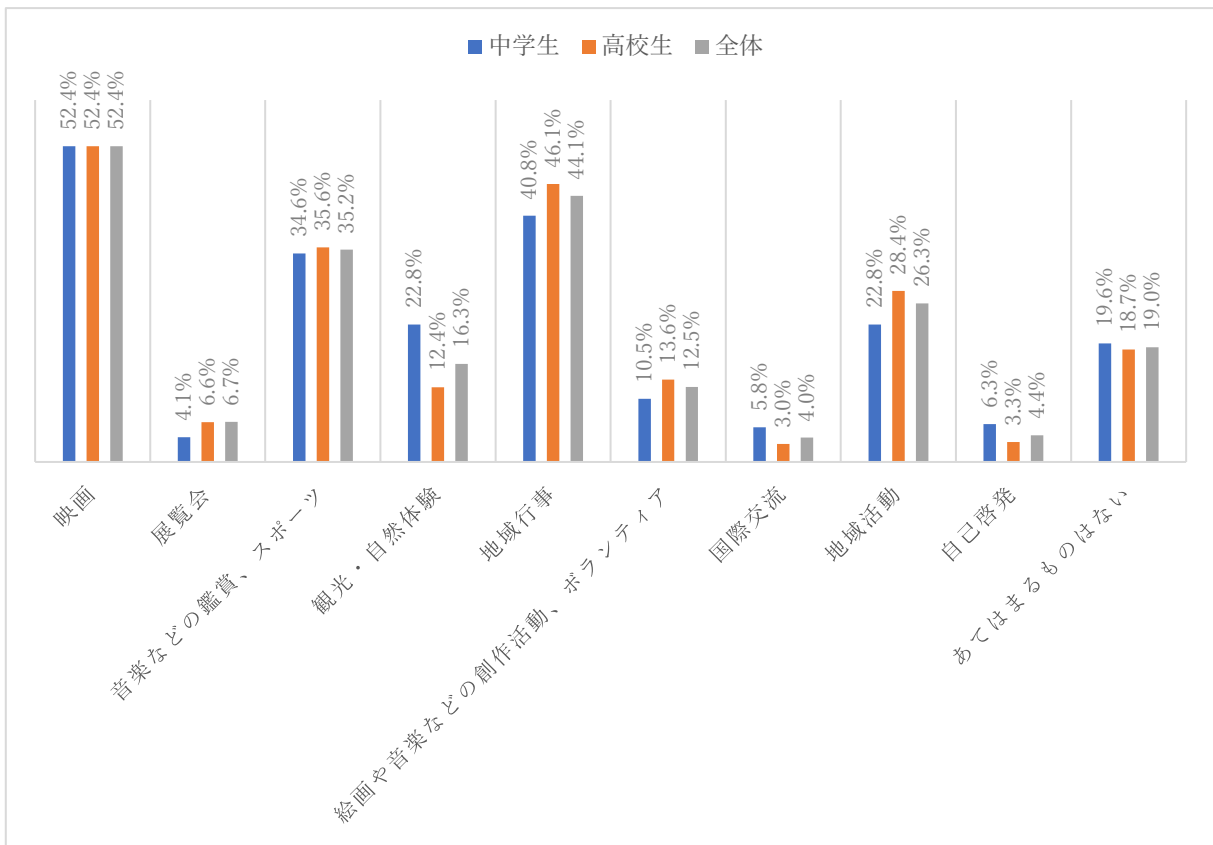


参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）』

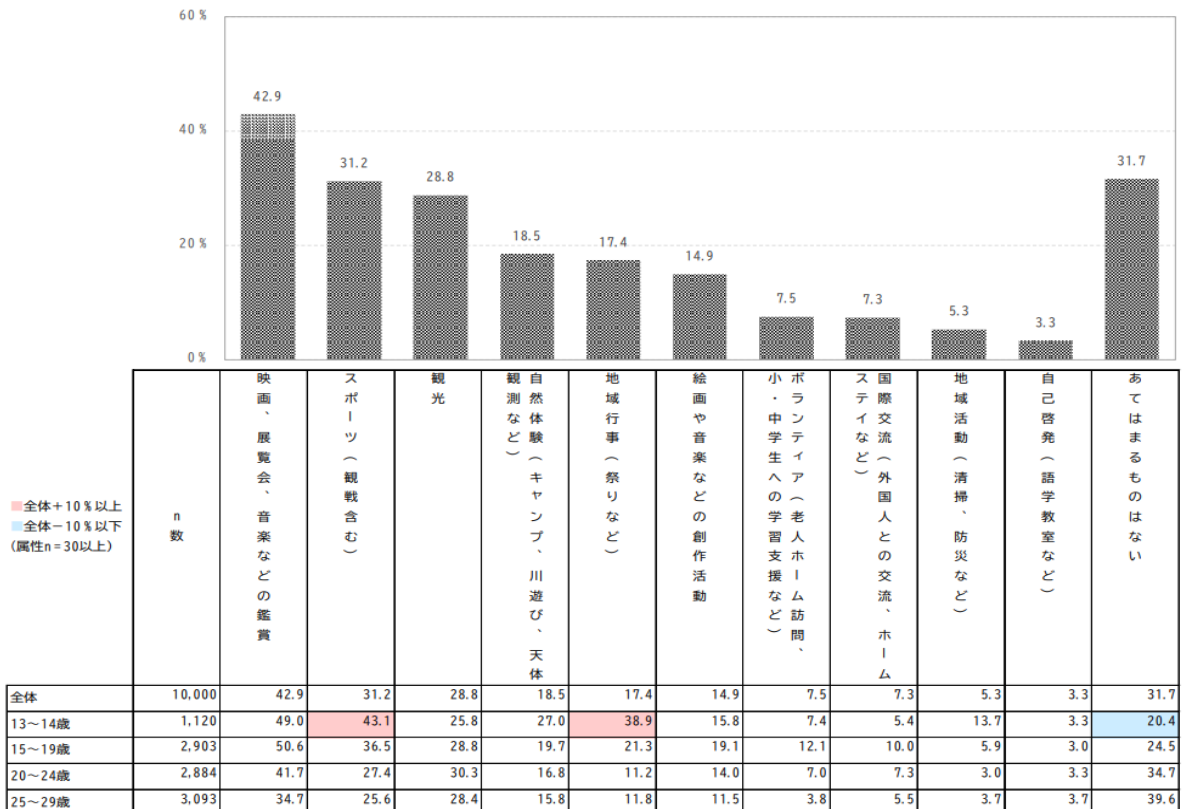


## 6. 学校や職場以外で他者で行う活動

### 1) 学校や職場以外で他者で行った活動内容

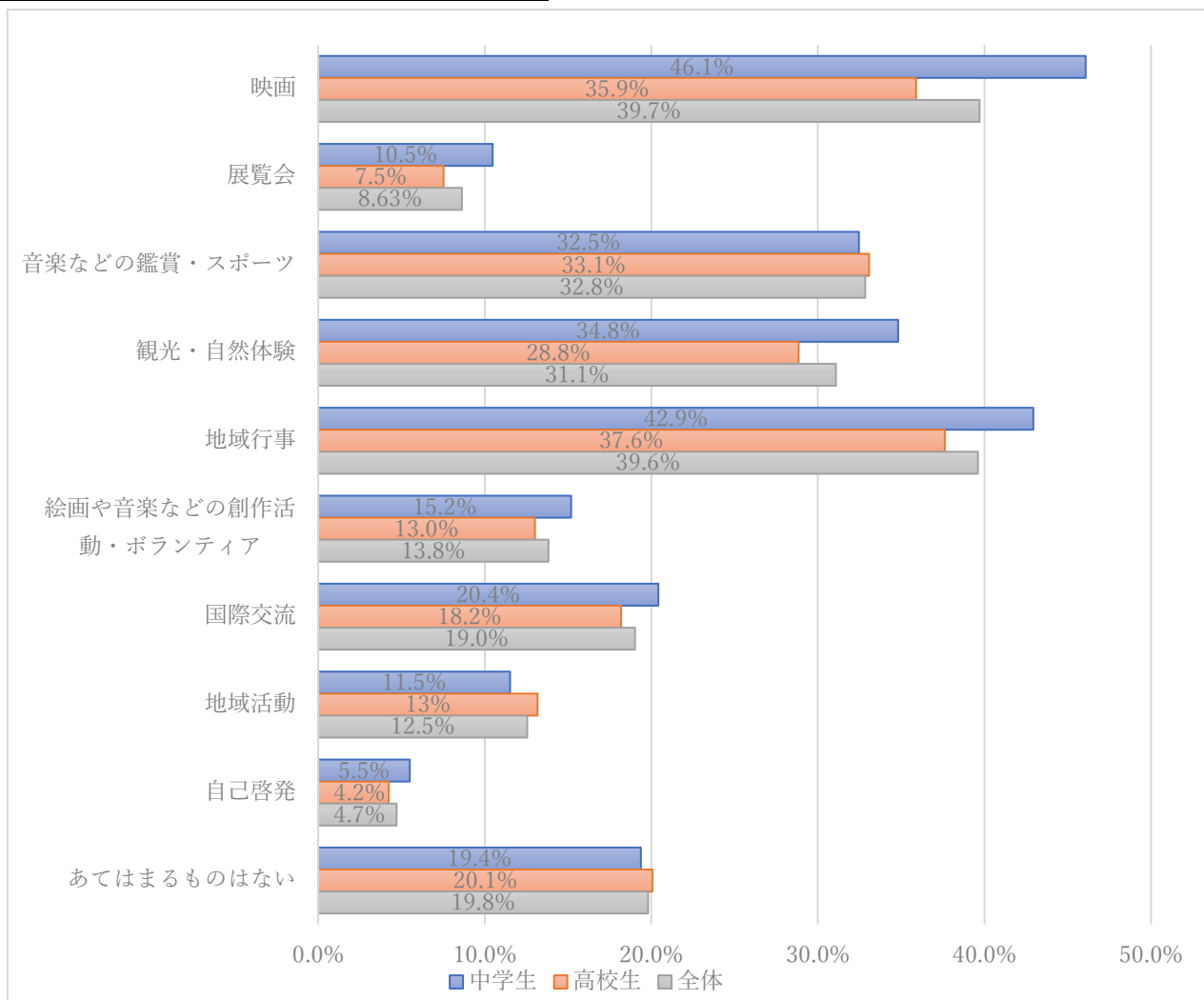


(全国)

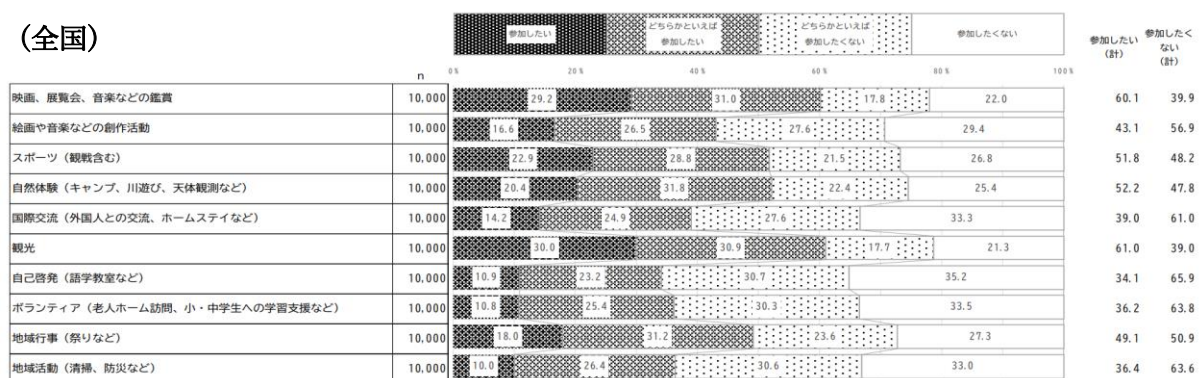


参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）』

## 2) 学校や職場以外で他者と行ってみたい活動内容

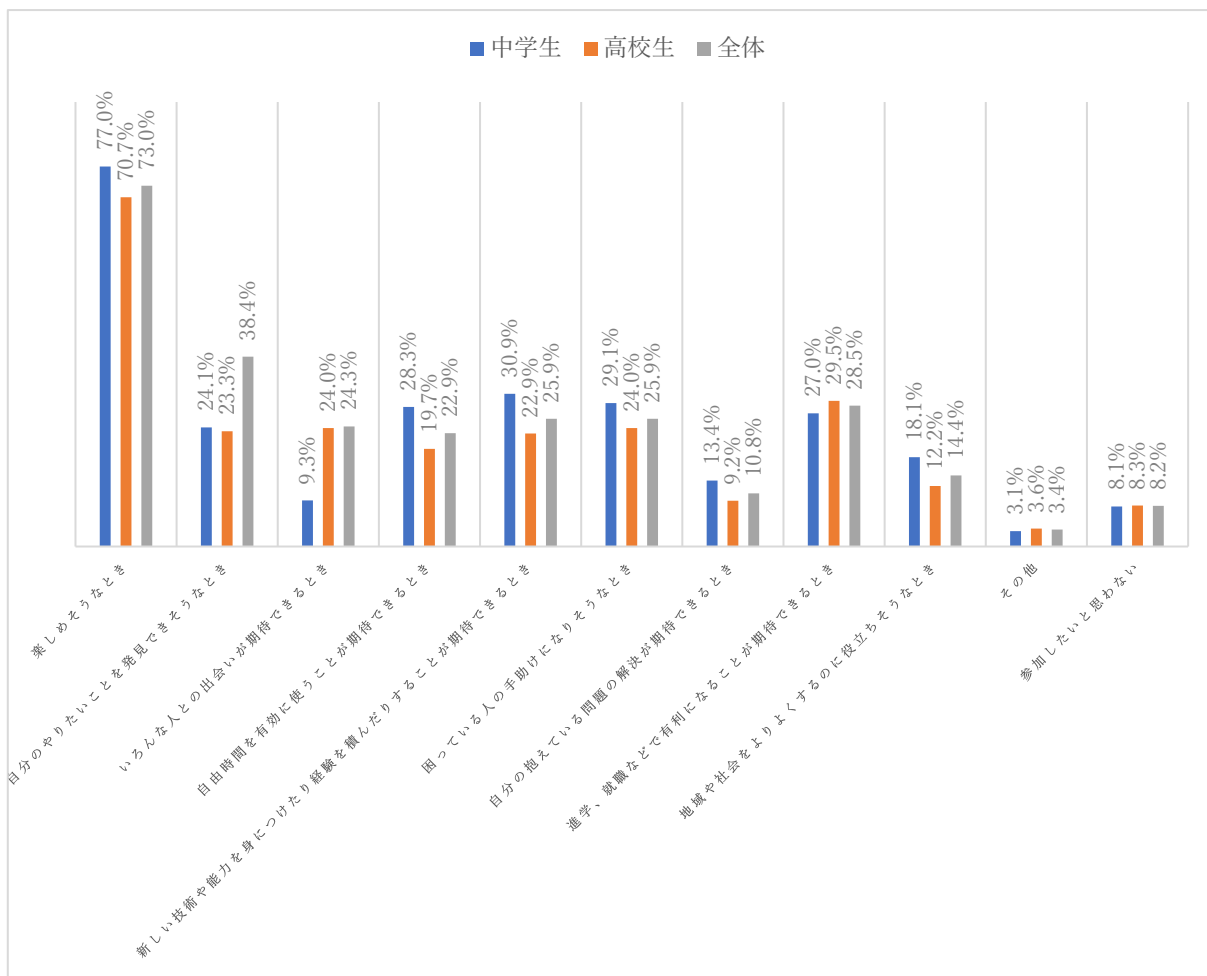


### (全国)

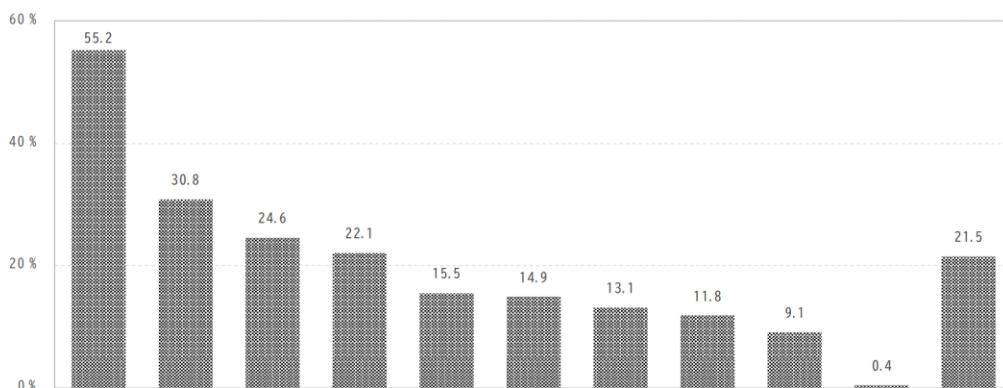


参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査 (令和元年度)』

3) どのような場合に、学校や職場以外で他の人と一緒に行う活動に参加しようと思いますか。



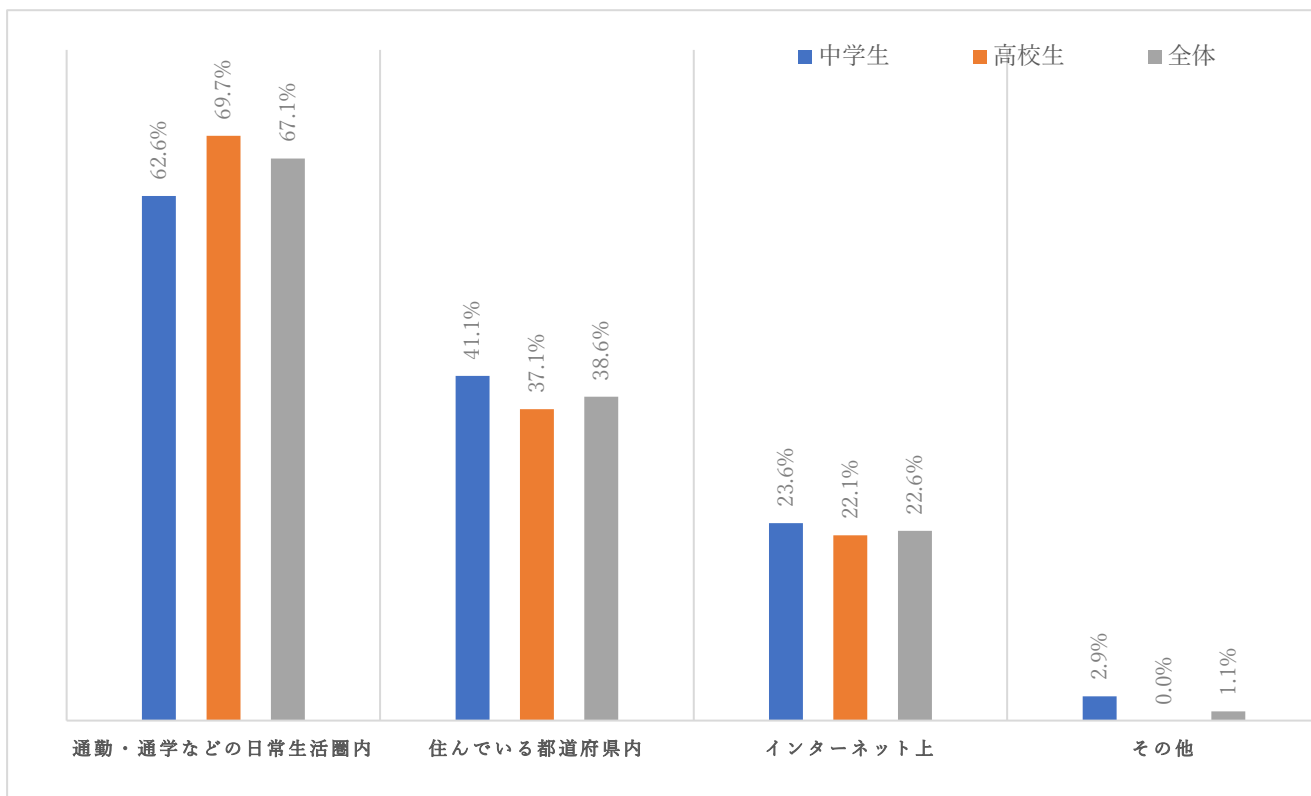
(全国)



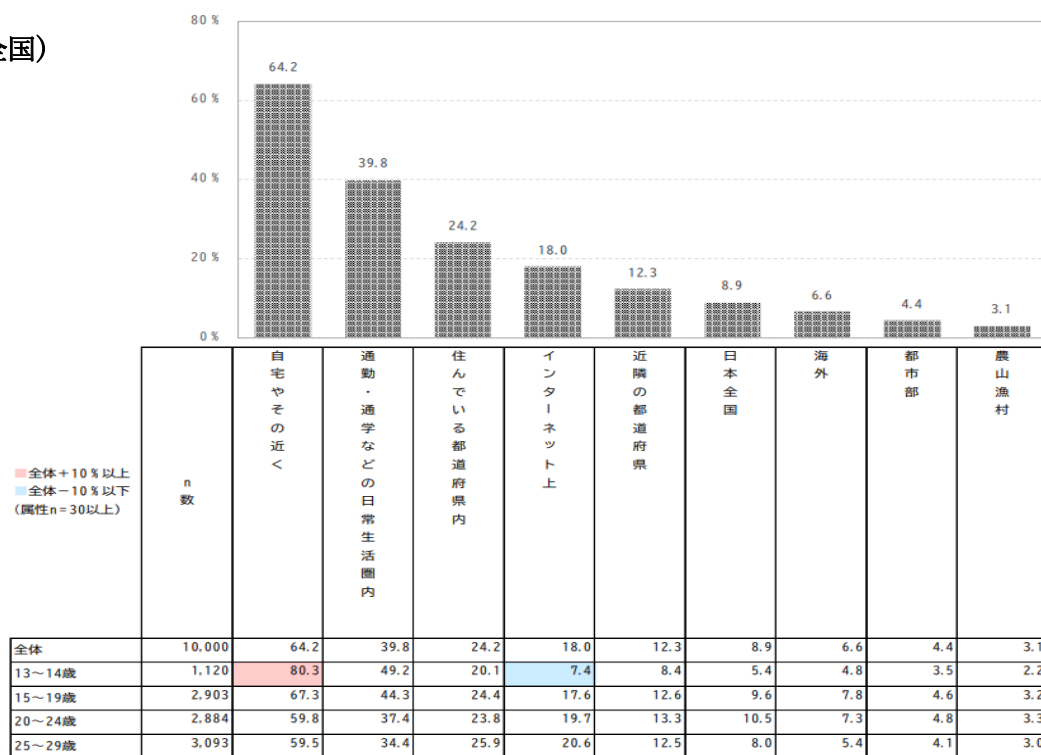
n 数	活動内容											
	楽しめそうなおき	自分のやりたいことを発見できそうなおき	いろいろな人との出会いが期待できそうなおき	自由時間を有効に使うことが期待できそうなおき	困っている人の手助けになりそうなおき	新しい技術や能力を身につけたり経験を積んだりすることが期待できそうなおき	自分の抱えている問題の解決が期待できそうなおき	進学、就職などで有利になることが期待できそうなおき	地域や社会をよりよくするのに役立つように役立ちそうなおき	その他	参加したいと思わない	
全体	10,000	55.2	30.8	24.6	22.1	15.5	14.9	13.1	11.8	9.1	0.4	21.5
13~14歳	1,120	64.7	32.4	17.5	14.8	11.2	15.4	8.2	9.4	8.7	0.2	13.1
15~19歳	2,903	62.0	35.9	26.8	25.8	19.4	17.6	14.2	19.0	10.9	0.4	15.8
20~24歳	2,884	52.2	29.4	25.4	22.1	15.4	13.9	13.4	11.1	8.4	0.4	23.9
25~29歳	3,093	48.3	26.8	24.3	21.2	13.5	13.1	13.7	6.5	8.2	0.4	27.5

参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）』

4) どのような場所であれば参加したいと思いますか。



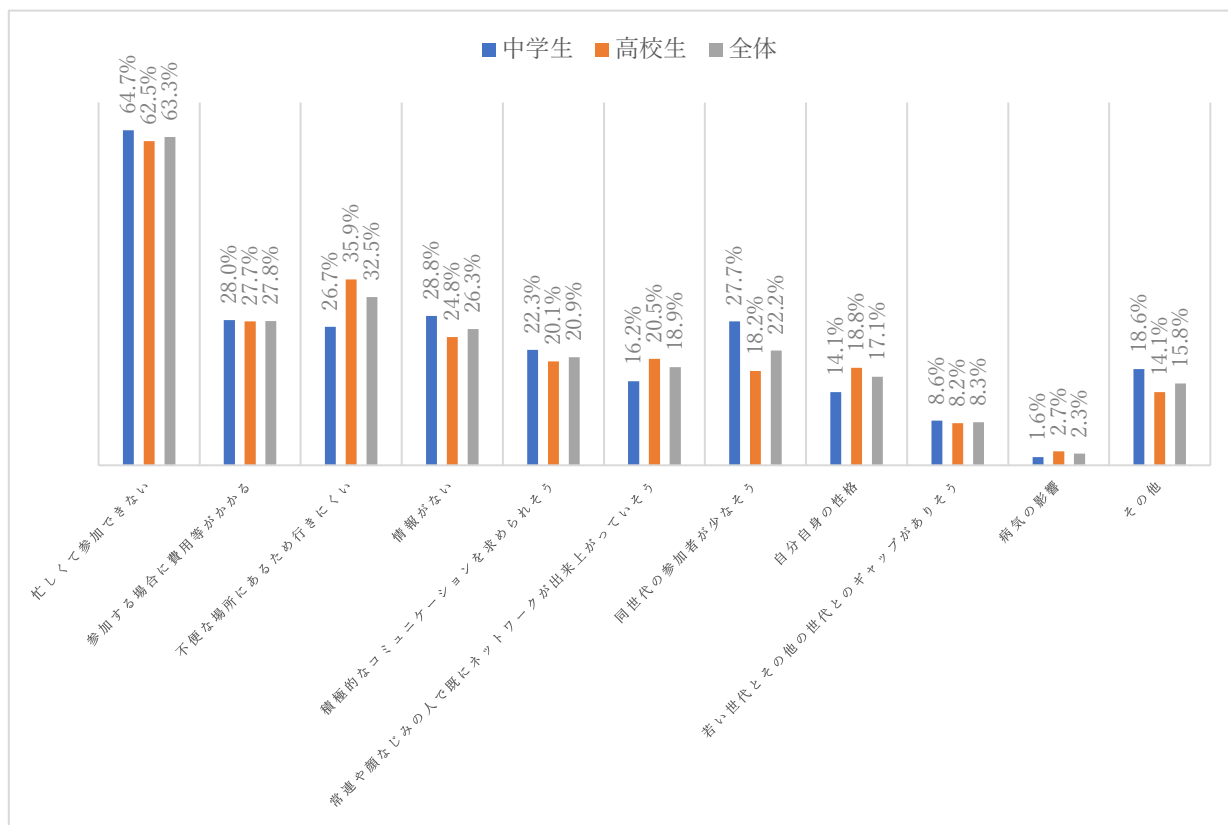
(全国)



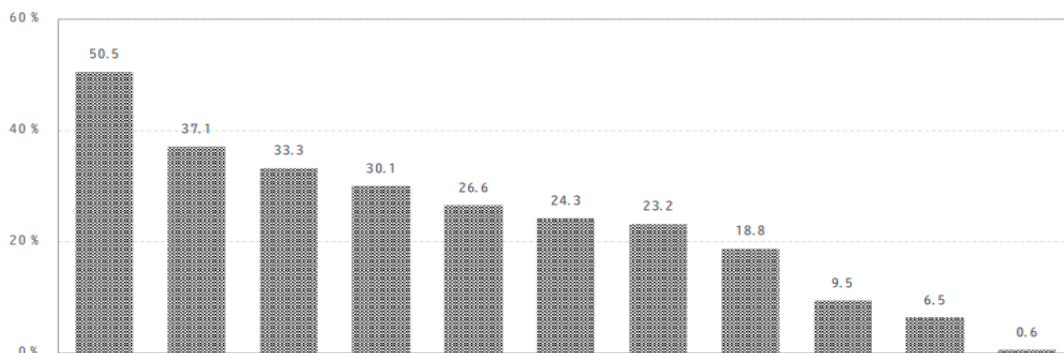
参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）』



5) 参加したくても出来ない場合、その支障となる理由。



(全国)

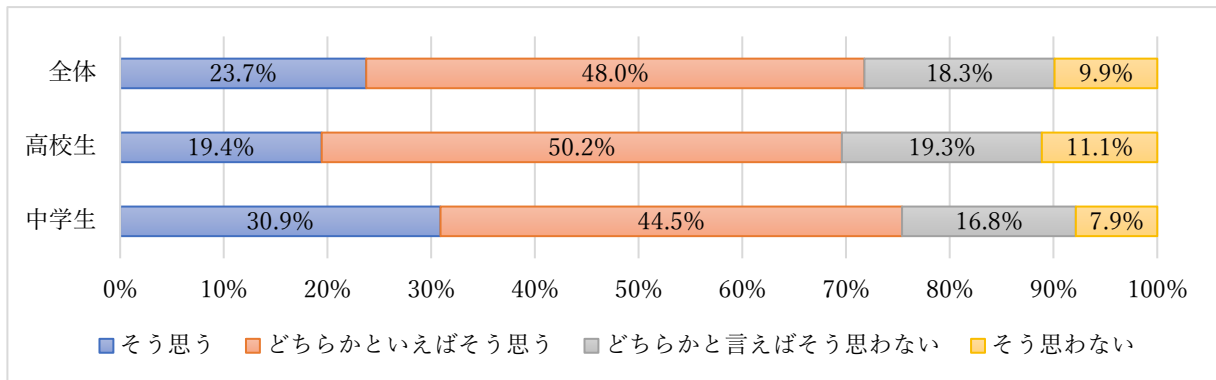


	n 数	理由										
		忙しくて参加できない	参加する場合に費用等がかかる	不便な場所にあるため行きにくい	情報がない	積極的なコミュニケーションを求められそう	同世代の参加者が出来上がっている	自分自身の性格	同世代の参加者が少なそう	若い世代とその他の世代とのギャップ	病気の影響	その他
全体	10,000	50.5	37.1	33.3	30.1	26.6	24.3	23.2	18.8	9.5	6.5	0.6
13～14歳	1,120	36.1	33.4	34.1	35.7	22.8	17.1	17.6	19.5	6.5	2.3	0.4
15～19歳	2,903	58.4	42.0	37.9	29.2	28.9	27.5	24.1	24.3	11.8	6.2	0.4
20～24歳	2,884	50.2	37.0	31.0	29.0	26.7	24.5	23.8	17.7	9.0	6.8	0.8
25～29歳	3,093	48.7	34.0	30.7	30.0	25.9	23.8	24.0	14.4	8.9	7.9	0.6

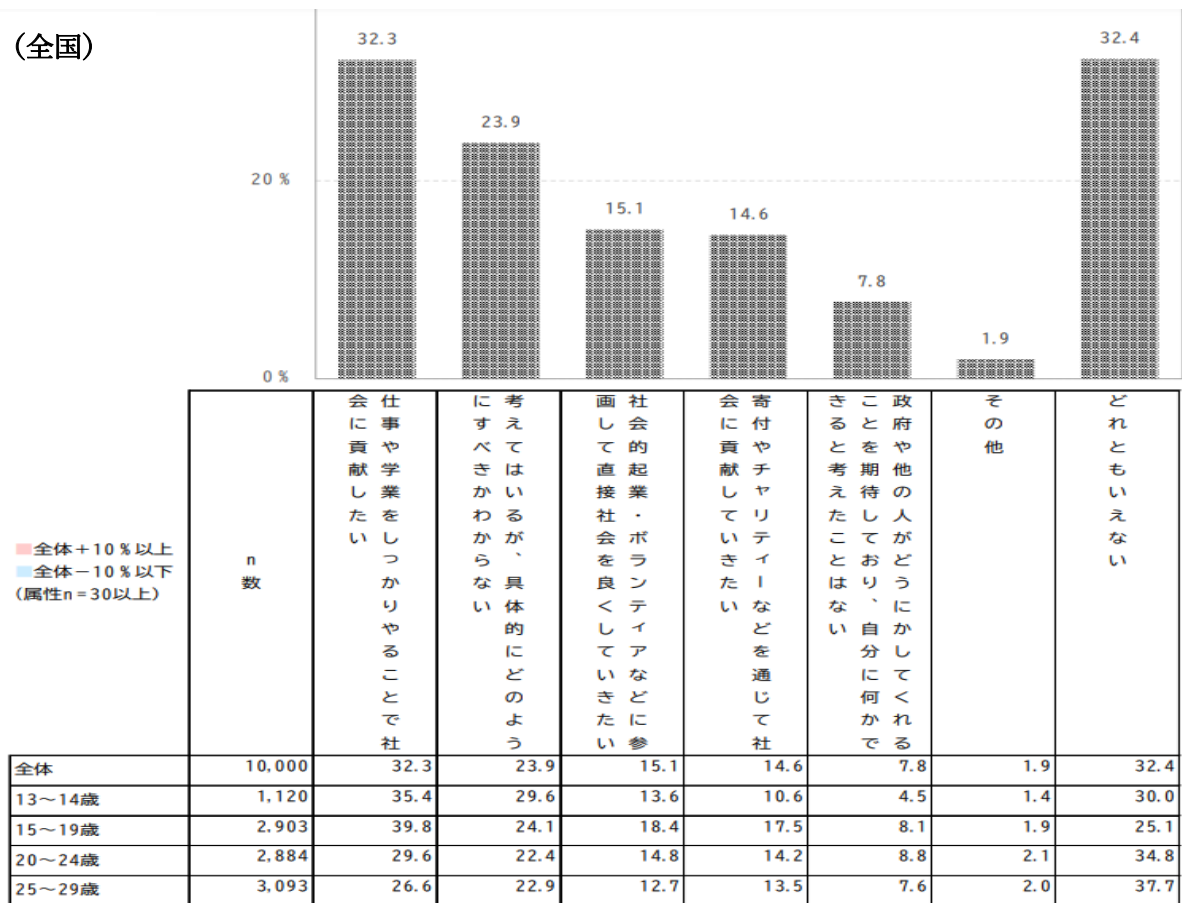
参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査 (令和元年度)』

## 7.社会参加

### 1) 日本の未来を良くするために何か行動しようと思っていますか。

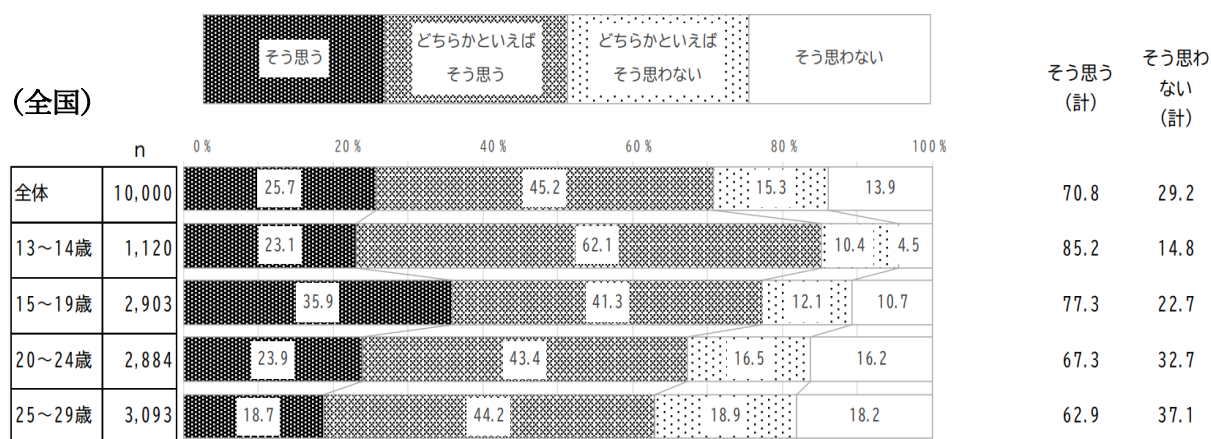
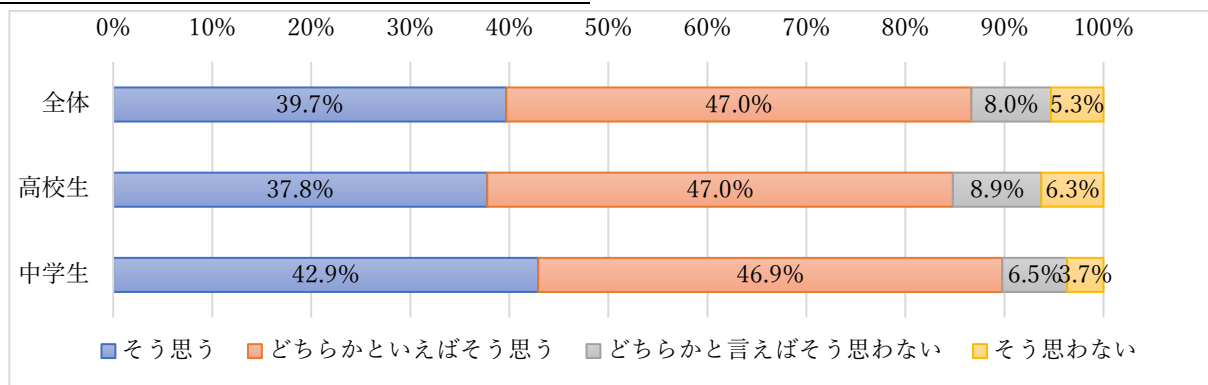


(全国)



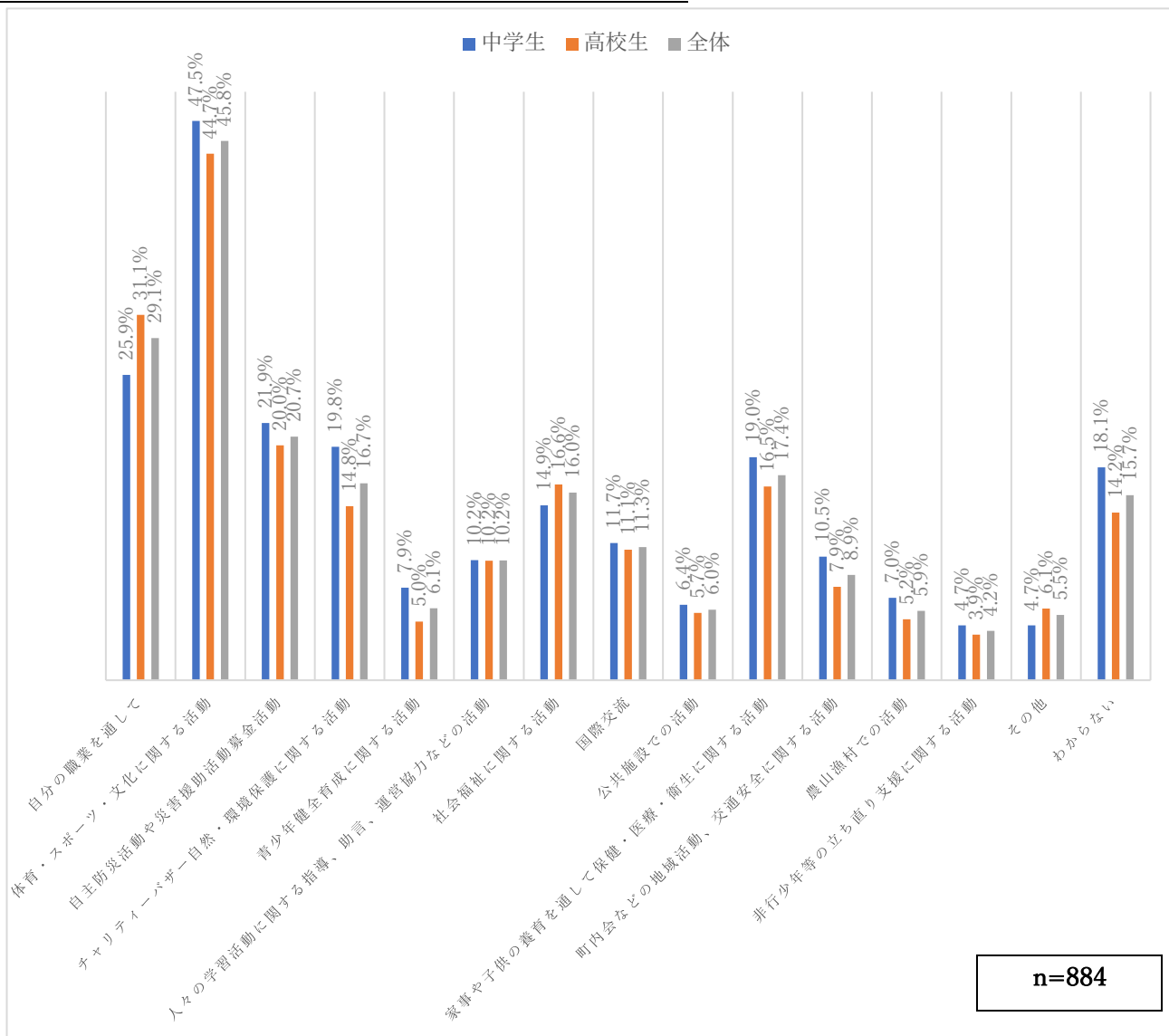
\* 今回の菊川市のアンケートでは、上記の質問に関して、「そう思う」「どちらかというと思う」「どちらかというと思わない」「そう思わない」の4択で聞いており、全国と質問形式が違い、比較することは難しいが、参考のため全国のデータを載せている。

2) 「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。



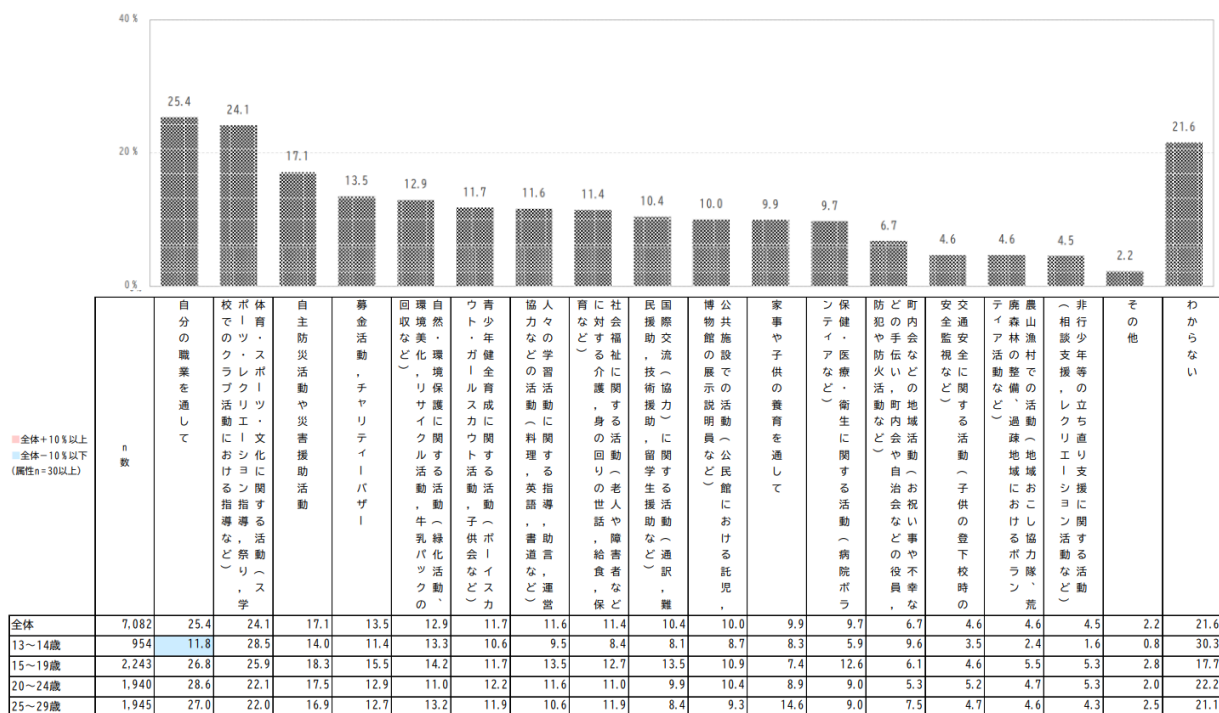
参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）』

3) 具体的に何を通じて社会のために役立ちたいと考えていますか。



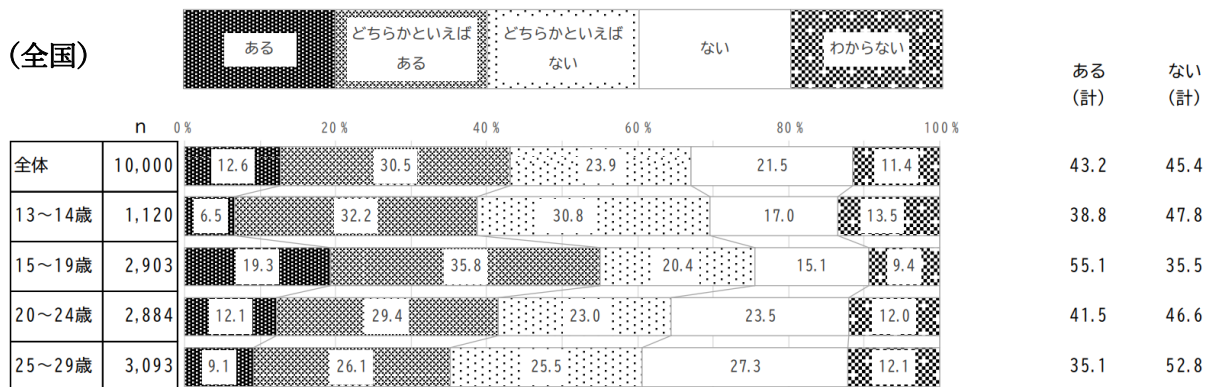
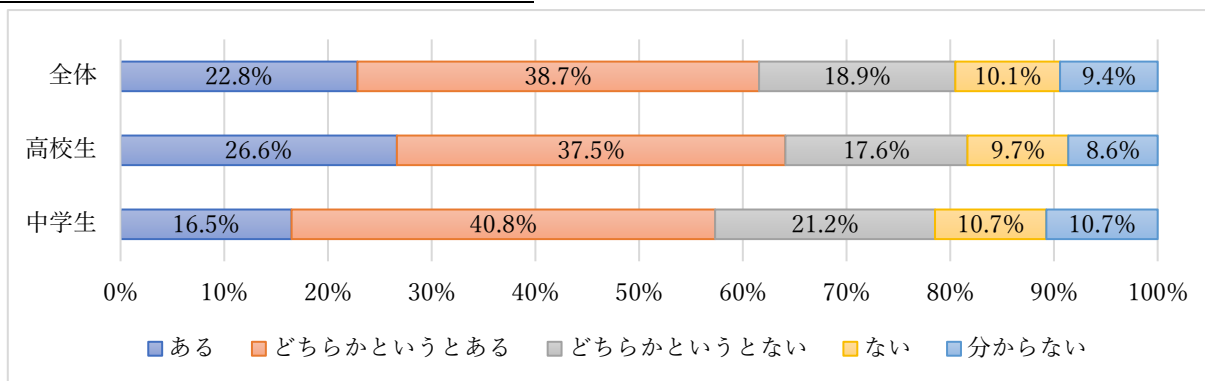
n=884

\* 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」との回答者のみ集計。



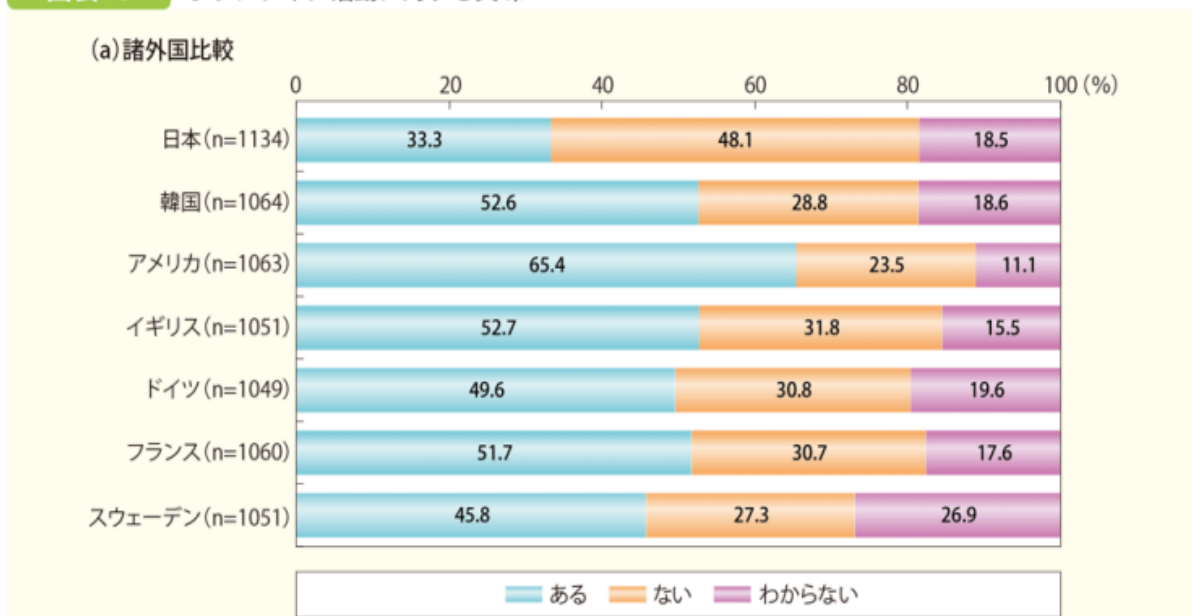
参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）』

4) あなたはボランティアに興味がありますか。



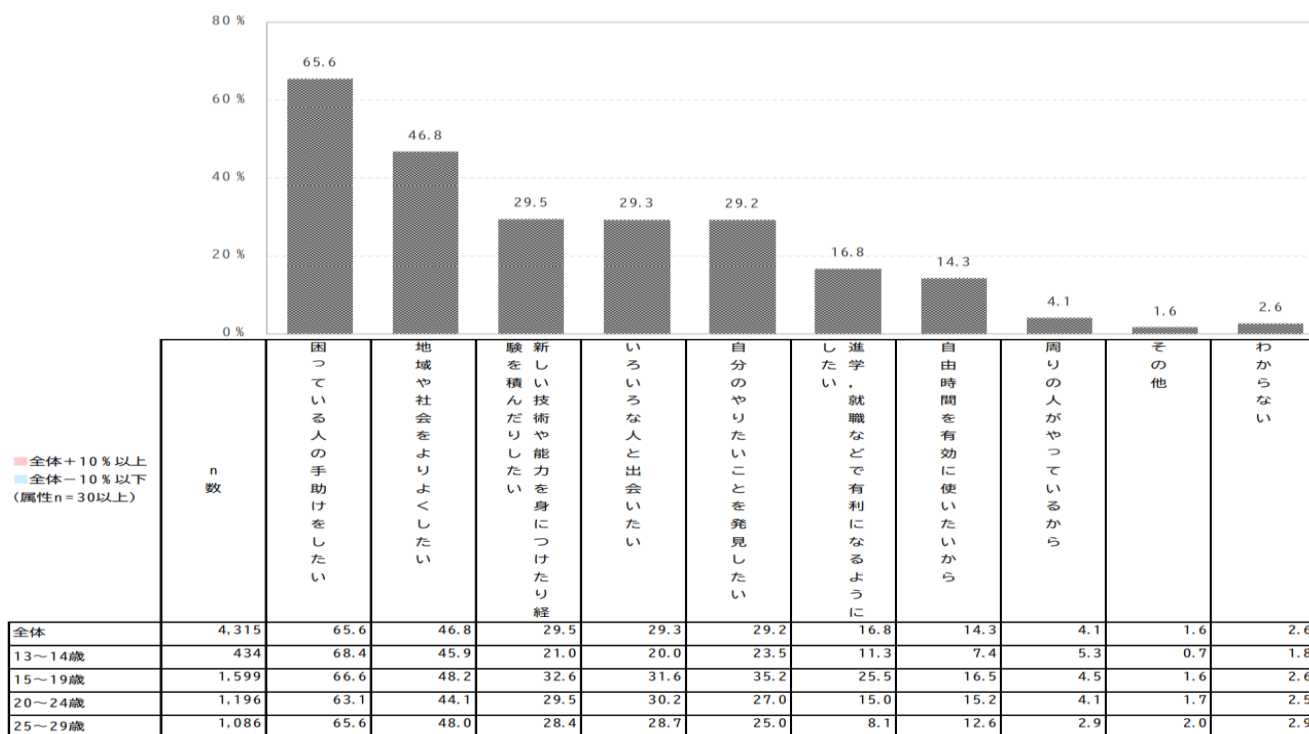
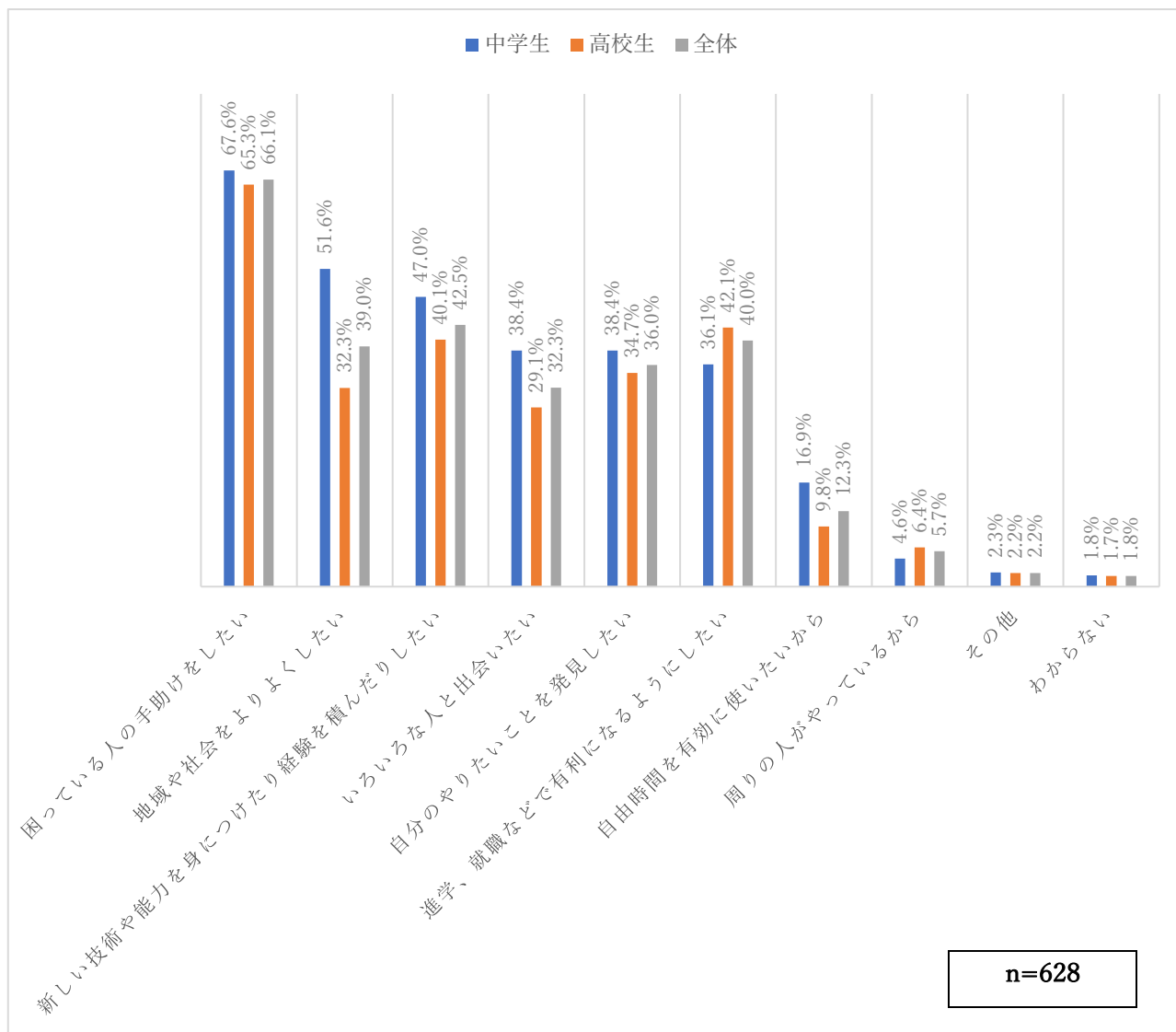
参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）』

図表16 ボランティア活動に対する興味



参考：内閣府 「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査 特集1 日本の若者意識の現状～国際比較からみえてくるもの～」

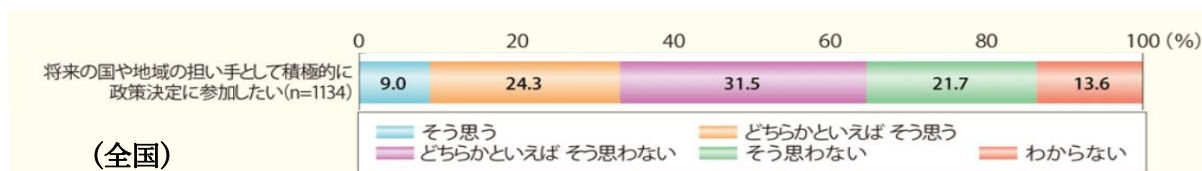
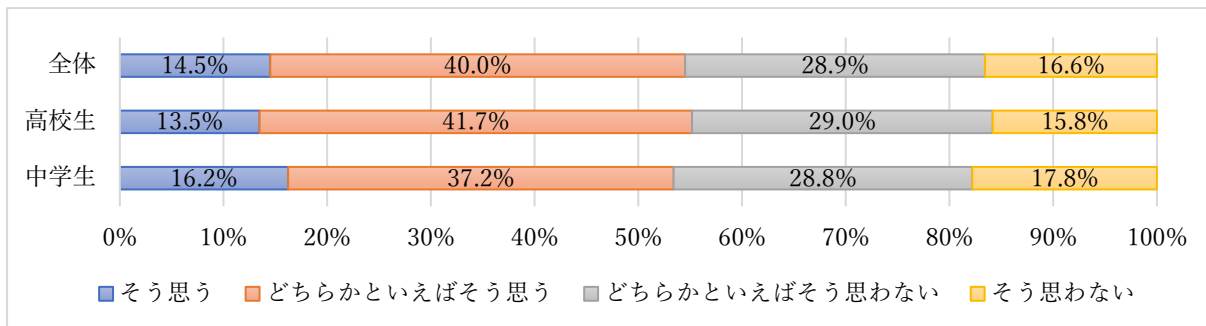
5) 興味があるのはどのような気持ちからですか。



参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）』

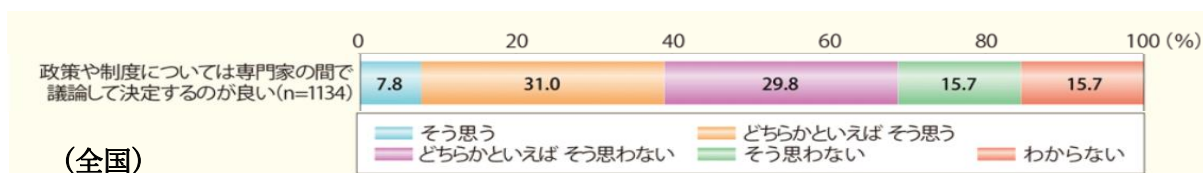
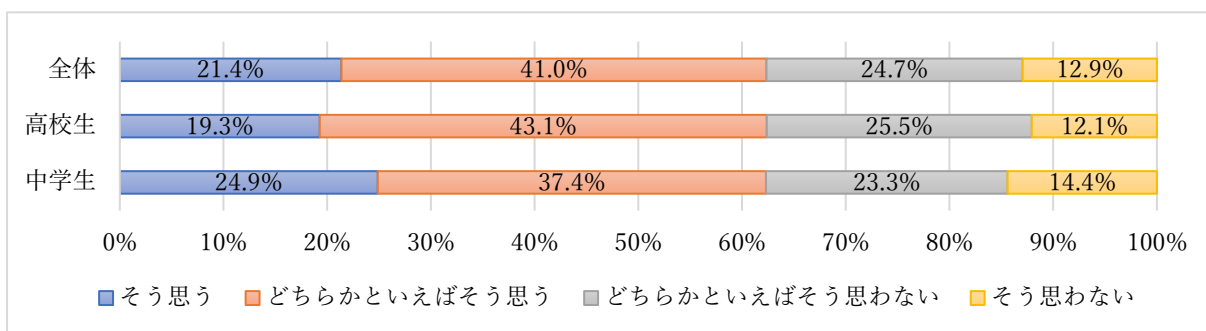
## 6) 次の質問にお答えください

### ① 将来の国や地域の担い手として積極的に政策決定に参加したい



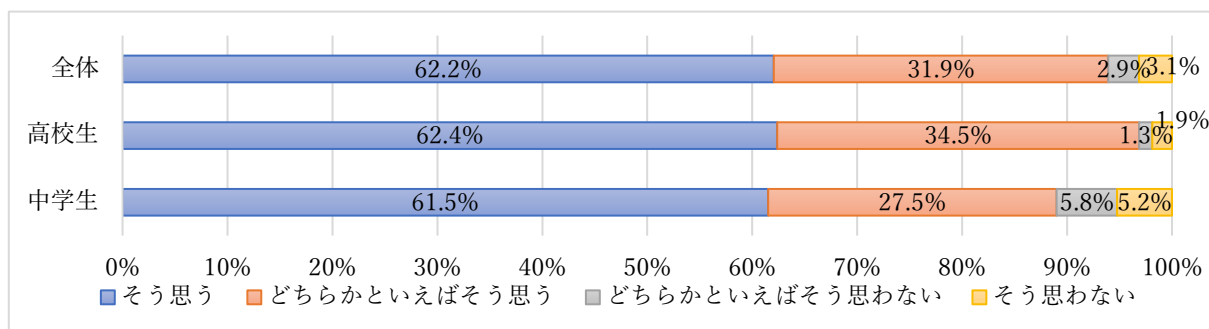
参考：内閣府 「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査 特集1 日本の若者意識の現状～国際比較からみえてくるもの～」

### ② 政策や制度については専門家の中で議論して決定するのが良い



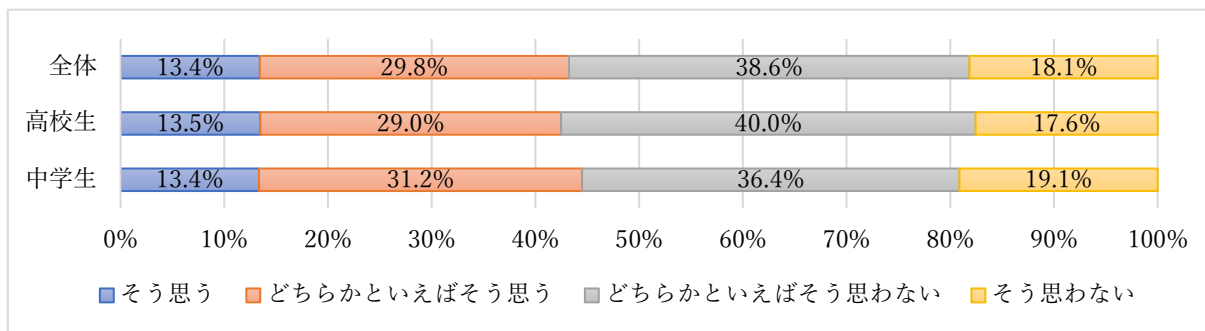
参考：内閣府 「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査 特集1 日本の若者意識の現状～国際比較からみえてくるもの～」

### ③ 子どもや若者が対象となる政策や制度については子どもや若者の意見を聞くようにすべき



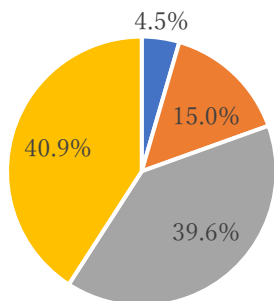
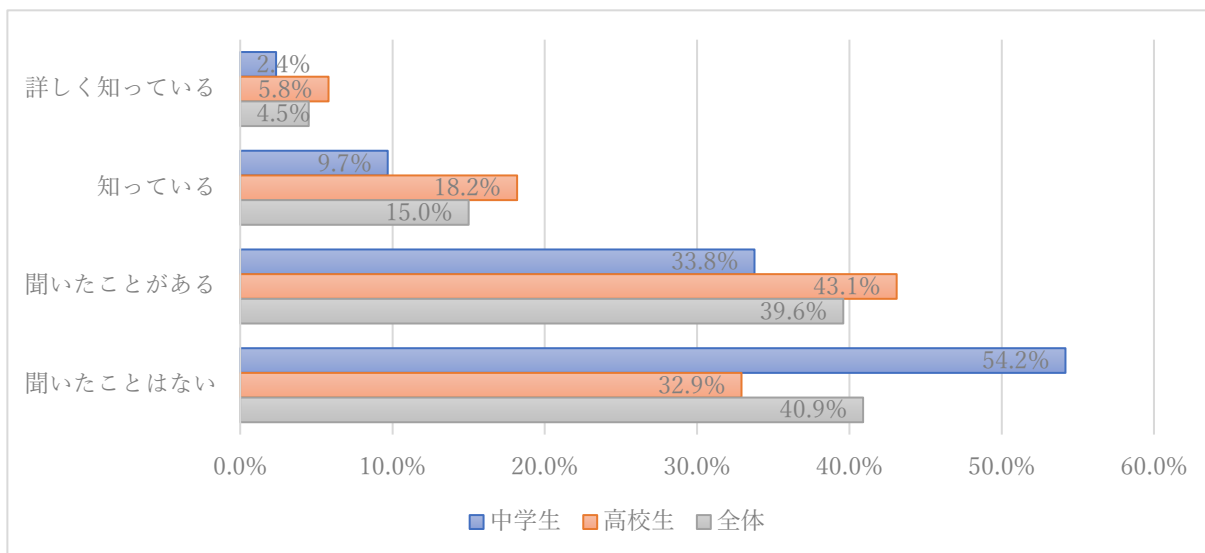
参考：内閣府 「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査 特集1 日本の若者意識の現状～国際比較からみえてくるもの～」

④ 私の参加により、変えて欲しい社会の現象が少し変えられるかもしれない



参考：内閣府 「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査 特集1 日本の若者意識の現状～国際比較からみえてくるもの～」

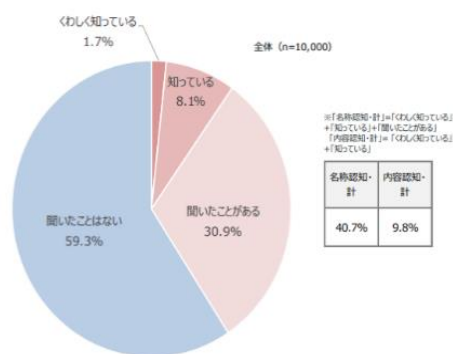
7) 子どもの権利条約について聞いたことがありますか



■ 詳しく知っている ■ 知っている  
■ 聞いたことがある ■ 聞いたことはない

Q. あなたは、「子どもの権利条約」について聞いたことがありますか？

(全国)



Copyright(c) 2023 日本財団

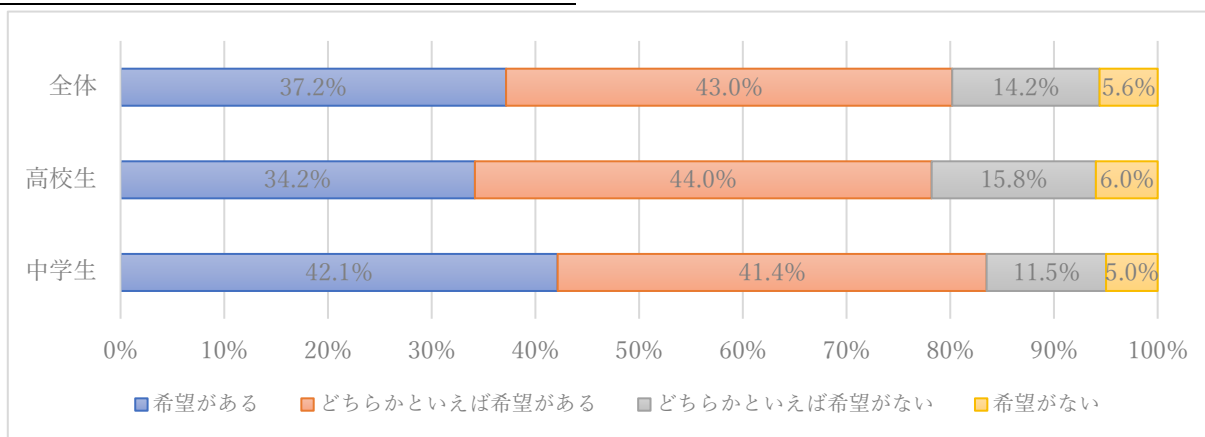
12

参考：日本財団 「こども1万人意識調査結果」



## 8.将来像

### 1) 自分の将来について明るい希望を持っていますか

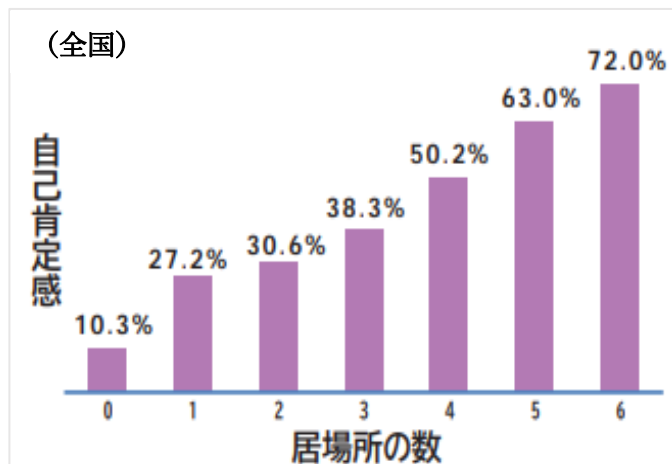
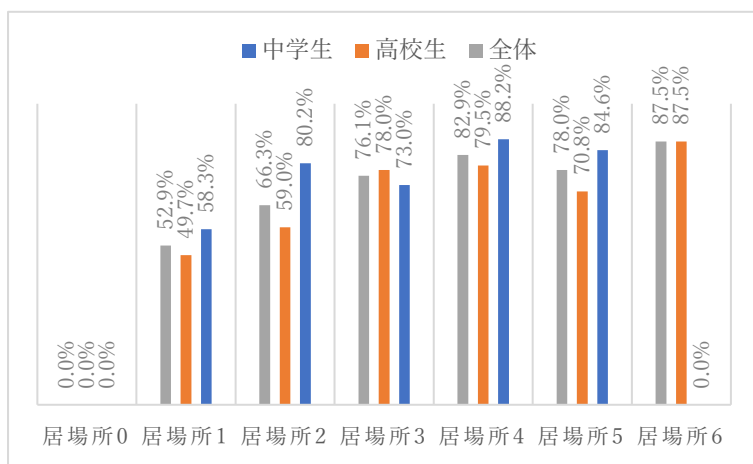


参考：内閣府 『子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）』

## 9.居場所の数と自己認識の関係

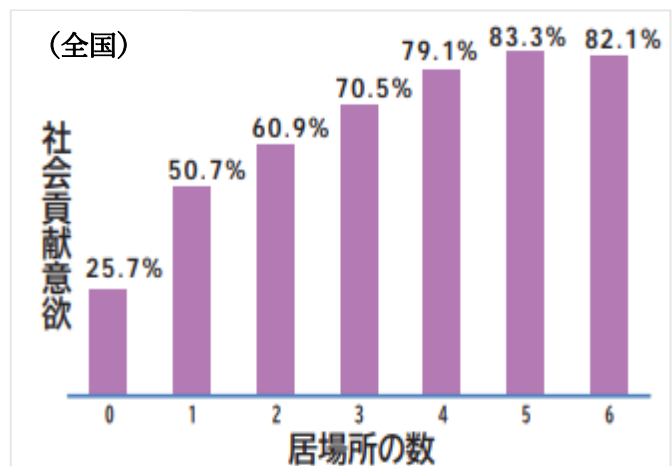
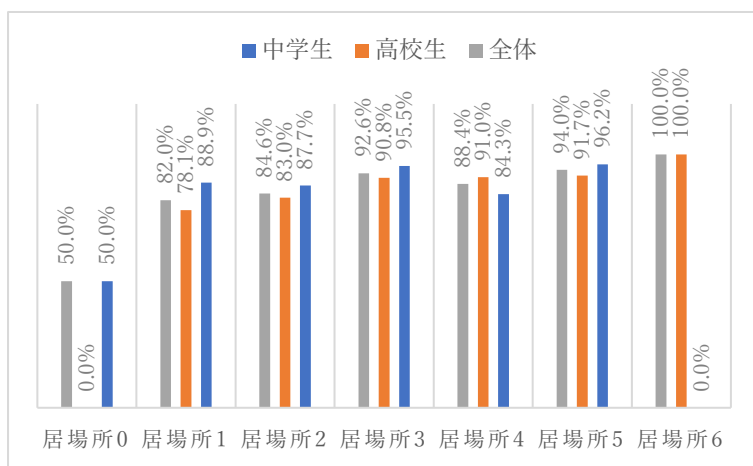
### 1) 自己肯定感

① P4「今の自分が好きだ」という質問に対して、「そう思う」「どちらかというと思う」と答えた人と居場所の数の関係



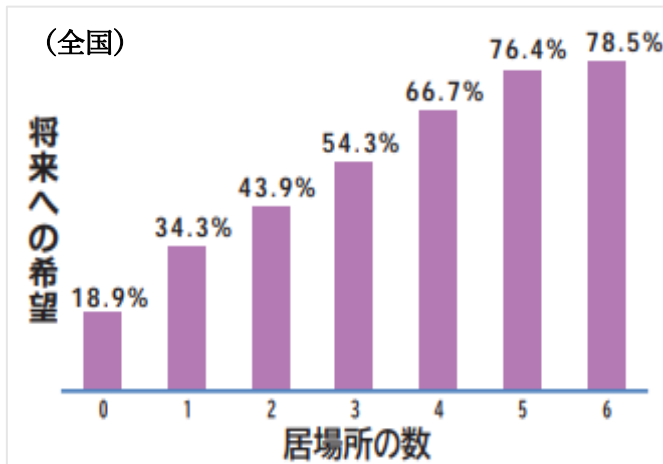
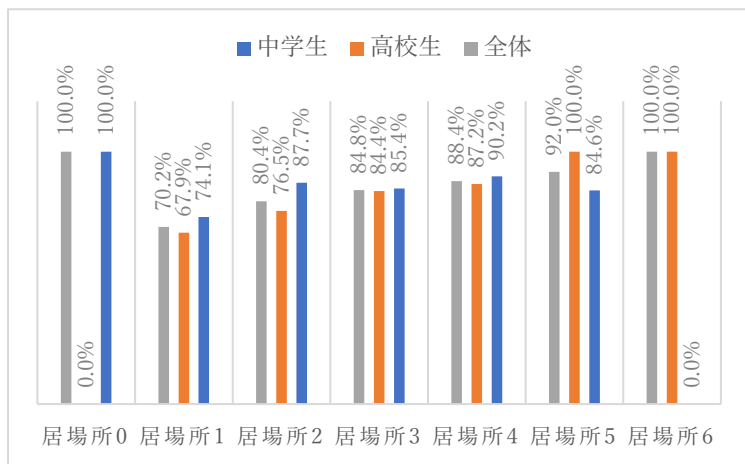
参考：内閣府 「子供・若者インデックスボード ver.4.0」

② P17「社会のために役立つことをしたいと思いますか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかというと思う」と答えた人と居場所の数の関係



参考：内閣府 「子供・若者インデックスボード ver.4.0」

③ P23「自分の将来について明るい希望を持っていますか。」という質問に対して、「そう思う」「どちらかというと思う」と答えた人と居場所の数の関係



参考：内閣府 「子供・若者インデックスボード ver.4.0」

## 10.自由記述

### 1) 菊川市や自分の住んでいるまちに対して、思うことはありますか

#### 良い

- ・ 未来が楽しみ
- ・ 街は良くて静かです
- ・ 空気がいい
- ・ 住みやすい
- ・ 居心地がいい
- ・ 地域の人がみんな優しくていい人が多いのでとてもいいまちだなと思う
- ・ 地域関係がとても良く、とても住みやすい場所だと思う
- ・ 明るい地域だと思う
- ・ 近所の人との距離が近いところが良い
- ・ 地域の人と気さくに話せる
- ・ 自然豊かで住みやすい。地域の人と関わることが多く、挨拶やコミュニケーションが多い

#### 不満

- ・ 菊川になにもないのが不満
- ・ 活気があまり感じられない
- ・ 設備が古い
- ・ 商業施設が少なくて遊ぶ場所がないのが難点
- ・ 田舎すぎる

#### 駅・交通について

- ・ とても住みやすく自然も広がっていて、駅などがとても便利
- ・ バスの本数が少ない
- ・ 交通の便が良くない
- ・ 駅周辺を便利にして欲しい
- ・ 出かける時はだいたい電車を使うため、駅をもう少し広く綺麗にして欲しい
- ・ 駅の南口にももう少し飲食店を増やして欲しい

#### 道路・街灯について

- ・ 道路の整備をして欲しい
- ・ 道が狭い
- ・ 街灯を増やして欲しい
- ・ 通学路が狭く、保育園幼稚園とも登校時間がかぶるので不便
- ・ 保育園の送迎と高校生の帰宅時間が被っており、送迎の車と接触しそうになるから対策をして欲しい
- ・ 学校の通学路が狭く、混みあってしまう
- ・ 通学路として使われている道が、車通りが多いにも関わらず全て狭く、危険であるのは問題だと思う
- ・ 夜暗くて歩くのが怖い
- ・ 菊川文庫の駐車場が狭くて車の出入りが大変です。もう少し隣との車の距離を離して欲しい

## 2) 希望的意見

### お店、ショッピングセンター

- ・ お店が少ない
- ・ もう少し若い人たち向けの施設ができるといいなと思う
- ・ 菊川はあまりパツとしたものがないからもう少し楽しめる場所を作るべき
- ・ 学生が遊べることができるショッピングモールとか駅のまわりにカフェなど立ち寄りところが欲しい
- ・ 映画館とスタバ欲しい
- ・ スタバやコメダ珈琲が無い
- ・ 施設が少ない
- ・ 娯楽施設が少ない
- ・ もう少し栄えて欲しい
- ・ ショッピングモールや若者向けのお店が少ない、遊べる場所が欲しい、田舎だな
- ・ 遊べるところが少ない
- ・ 放課後に友達と話したり寄っていきたりするようなお店が駅の近くにない 映画館が欲しい
- ・ 学校帰りに友達と寄れる店がない
- ・ 友人と親交を深める、または気軽に立ち寄れるような場所がない
- ・ ショッピングセンターが欲しい
- ・ もっと遊べるところが欲しい

### こども関係(遊び場)

- ・ 近くに遊べるところが少ない
- ・ 子供が集える場所が少ない
- ・ もっと子供たちが楽しんで和める場所があったらいいと思う
- ・ 子供が楽しくスポーツしながらも遊べる公園が欲しい。例、バスケットコート、ゴールの設置など

### 要望

- ・ きくらの勉強スペースが狭い(人が多い)
- ・ 駅の近くに勉強出来る場所が欲しい
- ・ 高校生を必要としているボランティアなどがあったら積極的に参加するので、市で呼びかけなどをしてもらいたい
- ・ 観光客が増えるようになればいいなと思う
- ・ 豊かな自然を大切にしたい
- ・ みんなと交流したい
- ・ もっと、中学生ができるようなキャンペーン的なものを作って欲しい
- ・ 災害の時などに、助け合うことができるから、もう少し、地域の人達と関わる機会が欲しい

### その他

- ・ アエルでのイベントに中学生や高校生などの若い人の参加があまり見られないのが残念だと思う
- ・ 少子高齢化が進んでいて文化の継承がされていくかが不安
- ・ 発展の仕方に偏りがあるように感じられる
- ・ 栄えている地域と、栄えていない地域の差が大きい

## 11.考察

菊川市における自己肯定感の高さと周囲への適応志向:

菊川市では「今の自分が好きだ」や「今の自分に満足している」という自己肯定感に関する質問において、全国平均よりも高い結果が得られた。一方で、「他人と同じことをしていると安心だ」という質問に関しては、菊川市の方が全国平均よりも周囲と調和することが重要視される傾向が見られた。このことから、自己の個性を尊重しながらも、共通の価値観や行動に合わせることを求められる環境であることが考える。

職業に対する楽観的な信念とその背後にある要因:

菊川市では、「努力すれば希望する職業につくことができる」との信念が全国平均よりも高い結果が得られた。これは、菊川市のこども・若者たちが自分の努力に対して確信を持っており、希望する職業に向けて積極的な姿勢を持っていることを示している。しかしながら、現実的な情報が限られているために楽観的な回答が出ている可能性も考えられる。

地域行事やボランティア活動への参加意向の高さ:

菊川市では、「学校や職場以外で他者と行った活動内容」として、地域行事への参加が全国平均よりも高い結果が得られた。また、ボランティア活動への興味関心も高いことが示されている。こども・若者たちは地域社会や社会全体への貢献意識が高く、多様な活動に参加する意欲を持っていることがうかがえる。

政策制定とこども・若者の声の重要性:

菊川市では、「政策や制度については専門家の間で議論して決定するのが良い」との賛成割合が全国平均よりも高い一方、「こどもや若者が対象となる政策や制度については子供や若者の意見を聞くようにすべき」という意見にも賛成する割合が高い結果が得られた。ここから、菊川市のこども・若者たちが政策制定においても自身の意見を重要視し、声を反映させることの重要性を認識していることがうかがえる。

こどもの権利条約に関する認知度の課題:

菊川市において、「こどもの権利条約について聞いたことがあるか」という質問に対しては、全体的な認知度が低い結果が示された。こどもの権利に関する情報や教育の普及が必要であると考えられる。

社会への貢献意欲の高さ:

菊川市のこども・若者たちは、「社会のために役立ちたい」と思う割合が全国平均よりも高く、社会への貢献意欲が高いことが示された。菊川市のこども・若者たちは、自身の力を社会に向けて活かす意欲を持っており、地域社会の発展に貢献したいと考えていることが調査結果から分かった。

\* 今回の調査は、市内にある公立、私立の中学校、高校に対して、実施したが、学校により回答率に差があり、特定の学校に通う生徒の意見が強く反映されている可能性がある。

## 12.出典

・内閣府 「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査 特集1 日本の若者意識の現状～国際比較からみえてくるもの～」

[https://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/r01honpen/s0\\_1.html](https://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/r01honpen/s0_1.html)

・内閣府 『子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）』令和2年7月

<https://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/ishiki/r01/pdf-index.html>

・内閣府 「子供・若者インデックスボード ver.4.0 令和5年3月1日時点」

[https://www8.cao.go.jp/youth/index\\_board/index.html](https://www8.cao.go.jp/youth/index_board/index.html)

・日本財団 「こども1万人意識調査結果」令和5年年3月

[https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2023/05/new\\_pr\\_20230501\\_01.pdf](https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2023/05/new_pr_20230501_01.pdf)